道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道9号　浜田・三隅道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：島根県浜田市原井町 至：島根県浜田市三隅町森溝上			延長	14.5km

事業概要

一般国道９号は、京都市から下関市に至る延長約７５５ｋｍの主要幹線道路である。

浜田・三隅道路は、国道９号の交通混雑の緩和及び交通安全の確保等を目的とした島根県浜田市原井町から浜田市三隅町森溝上に至る延長１４．５ｋｍの自動車専用道路である。

H16年度事業化	H15年度都市計画決定	H17年度用地着手	H18年度工事着手

全体事業費	約571億円	事業進捗率（H25年3月末現在）	77%	供用済延長	0.0km

計画交通量	16,700台／日～17,700台／日

費用対効果分析結果（3便益）	B/C (3便益)	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体) 1.5 (残事業) 6.8	140/652億円 事業費：89/601億円 維持管理費：51/51億円	948/948億円 走行時間短縮便益：700/700億円 走行経費減少便益：176/176億円 交通事故減少便益：73/73億円	平成25年

感度分析の結果

(事業全体) 交通量：B/C＝1.2～1.7（交通量±10%）　(残事業) 交通量：B/C＝5.7～8.0（交通量±10%）
事業費：B/C＝1.4～1.5（事業費±10%）　事業費：B/C＝6.4～7.2（事業費±10%）
事業期間：B/C＝1.4～1.5（事業期間±20%）　事業期間：B/C＝6.6～6.9（事業期間±20%）

事業の効果等

①円滑なモビリティの確保
・損失時間の削減が見込まれる【46,679千人・時間/年⇒45,849千人・時間/年　約1.8%削減】
・現道における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度が改善される
【浜田市熱田町：17.8km/h⇒40.0km/h】
・利便性の向上が期待できるバス路線が存在する【61便/日】
・浜田市三隅町から浜田駅（特急停車駅）へのアクセスが向上【浜田市三隅支所～浜田駅：38分⇒29分】
・浜田市から萩・石見空港（第三種空港）へのアクセスが向上
【浜田市役所～萩・石見空港：65分⇒45分※1】
②物流効率化の支援
・益田市から浜田港（重要港湾）へのアクセスが向上【益田市役所～浜田港：61分⇒41分※1】
③国土・地域ネットワークの構築
・新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する【浜田市～益田市】
・隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する【浜田市～益田市】
・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上【浜田市三隅支所～浜田市役所：34分⇒25分】
④個性ある地域の形成
・主要な観光地へのアクセス向上【しまね海洋館アクアスの入り込み客数（H24）：39万人／年】
⑤安全で安心できるくらしの確保
・三次医療施設へのアクセス向上【浜田市三隅支所～浜田医療センター：23分⇒20分】
⑥災害への備え
・島根県の第１次緊急輸送道路に指定（一般国道９号）
・緊急輸送道路である一般国道９号が通行止めになった場合の代替路線を形成する
・要防災対策箇所等が解消される（８箇所）
⑦地球環境の保全
・CO2排出削減量が約8.5千t/年（約0.4%）削減【1,892千t／年⇒1,884千t／年】
⑧生活環境の改善・保全
・NOX排出削減量が約27.9t／年（約0.6%）削減【4,911t／年⇒4,883t／年】
・SPM排出削減量が約2.2t／年（約0.8%）削減【262t／年⇒260t／年】

・騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間において、要請限度を下回ることが期待される
⑨環境への影響を考慮した効果
・約8.5千t／年のCO2削減量の貨幣換算値【約4.5億円※2】
⑩他のプロジェクトとの関係
・「中国ブロックの社会資本の重点整備方針（H21.8）」に位置づけられている
・大規模事業（一般国道９号 三隅・益田道路、臨港道路福井４号線）と一体的に整備する必要あり
・「島根県総合発展計画（H24.3）」、「浜田市総合振興計画（H23.3）」に位置づけられている
※1：三隅・益田道路の効果を含む
※2：開通後50年間の便益額として試算した値（参考値）

関係する地方公共団体等の意見

浜田・三隅道路は、山陰道の一部として、災害及び事故等の代替路線、安全確実な救急搬送ルート、産業・観光振興を図る上で必要不可欠な社会基盤であり、島根県、浜田市、山陰道の沿線市、経済界等で構成する、山陰自動車道（安来～益田）建設促進期成同盟会等より、早期整備要望を受けている。

島根県知事の意見：対応方針（原案）について妥当である。
一般国道９号浜田・三隅道路は、重点港湾浜田港を活かした物流の活性化、企業誘致の促進、事故・災害時の代替道路機能の確保、救急医療活動の支援を始め、地域産業の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠な路線であり、既に明示されている平成２８年度での確実な供用を図って頂きたい。
また、その他の山陰道の各区間についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、２０２０年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。
なお、道路利用者から声が上がっているトイレ等の休憩施設について、現道の道の駅への案内誘導等、配慮願いたい。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

並行する国道９号では、主要な交差点において交通事故が多発しており、交通事故による通行止めにより著しい渋滞が発生している。
また、国道９号の朝夕ピーク時における交通混雑により、広域交通拠点（浜田港、浜田自動車道等）へのアクセスを阻害している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成25年3月末時点で、用地買収については96%が完了しており、現在はトンネル・橋等の工事を推進中。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

原井ランプ（仮称）～西村IC（仮称）を平成26年度、西村IC（仮称）～三隅IC（仮称）を平成28年度の開通を予定している。

施設の構造や工法の変更等

新工法の導入（PCコンポ橋）等により、総合的なコスト縮減を図っている。

対応方針（原案） 事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

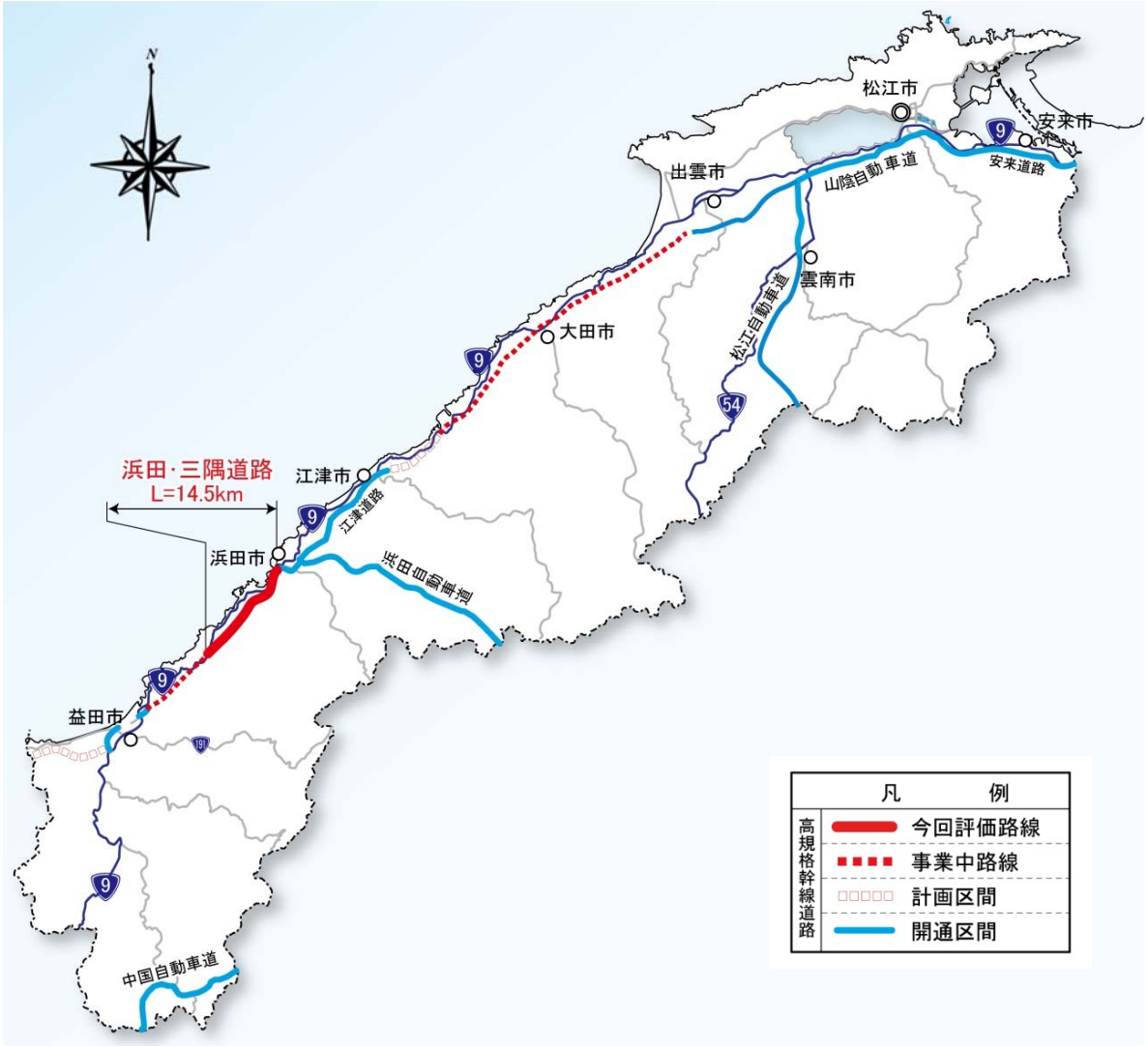
一般国道9号 浜田(はまだ)･三隅(みすみ)道路
事業再評価

平成２５年１２月

国土交通省 中国地方整備局

1. 位置図

・一般国道9号は、京都市から下関市に至る延長約755kmの主要幹線道路である。
・浜田・三隅道路は、島根県浜田市原井町から浜田市三隅町森溝上に至る延長14.5kmの自動車専用道路である。



2. 事業概要および経緯

(1)事業概要

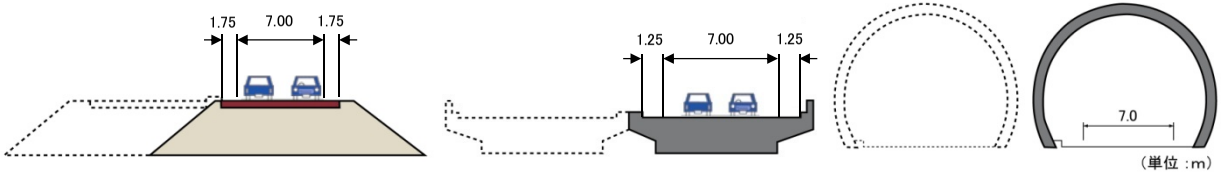
・本道路は、国道9号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、医療・物流活動を支援するとともに、山陰地方における高規格道路網の一部を形成する路線で、広域交流の促進及び地域活性化等に寄与する自動車専用道路である。

計画概要図

計画概要

起　終　点	起点：浜田市原井町 終点：浜田市三隅町森溝上
計画延長	14.5km
道路規格	第１種第２級
設計速度	100km/h
車　線　数	暫定２車線

標準断面図



<土工部>　<橋梁部>　<トンネル部>

※破線分部は4車線完成時

2. 事業概要および経緯

(2)事業経緯

・平成15年度に都市計画決定され、平成16年度に事業着手している。

事業経緯	区間 / 年度	西村IC（仮称）～三隅IC（仮称）	原井ランプ（仮称）～西村IC（仮称）
	平成15年度	都市計画決定	
	平成16年度	事業着手	
	平成17年度	用地着手	
	平成18年度		工事着手
	平成19年度	工事着手	
	平成22年度	中国地方整備局　事業評価監視委員会にて再評価を実施	

2. 事業概要および経緯

（3）事業の進捗状況

・平成25年3月末時点で用地買収は96％完了しており、原井ランプ（仮称）～西村IC（仮称）を平成26年度、西村IC（仮称）～三隅IC（仮称）を平成28年度の開通を目指し、トンネル・橋等の工事を推進している。

●事業全体の進捗状況
（平成25年3月末時点）

用地	96%
工事	72%
全体	77%

※暫定2車線の事業費に対する割合

① 原井地区より浜田市街を望む

④ 三隅IC（仮称）より折居地区を望む

③ 折居地区を望む

② 周布川大橋（仮称）を望む

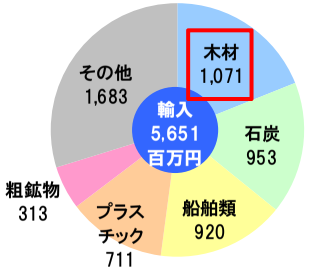
3. 前回評価時からの主な周辺状況の変化

一般国道9号　浜田・三隅道路

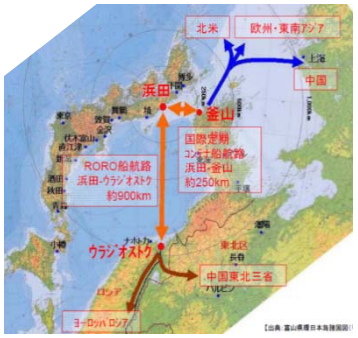
浜田港が日本海側拠点港（原木）に選定

・国際競争力の強化に向けて整備を支援する日本海側拠点港として浜田港（原木）が平成23年11月に選定された。
・また、浜田港とロシア・ウラジオストク港を結ぶRORO船の定期運航が2012年12月から開始され、浜田港の重要性が非常に高まっている。

【浜田港品目別貿易額（H23）】



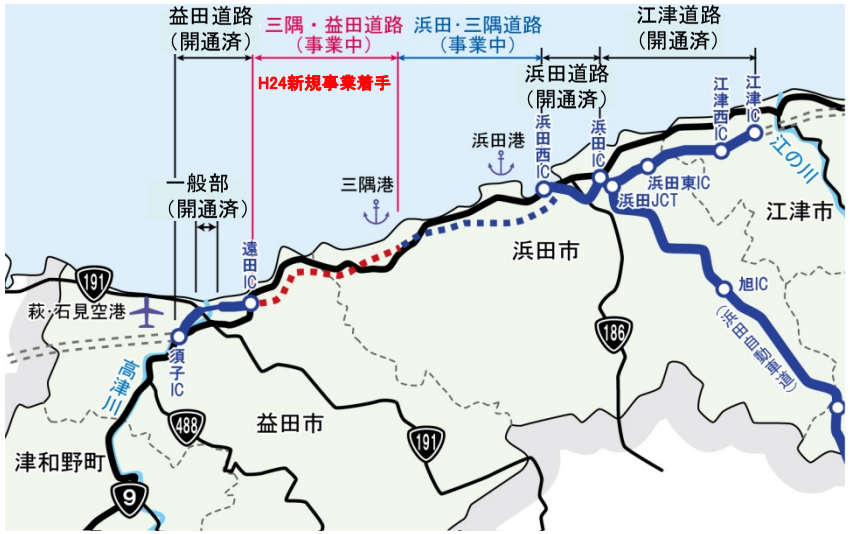
資料）浜田港振興会データ



資料）H23島根県資料

三隅・益田道路が新規事業化

・浜田・三隅道路の西側に位置する「一般国道9号 三隅・益田道路」がH24年度に事業化。



臨港道路 福井4号線が新規事業化

・浜田・三隅道路と直結し、浜田港の物流効率化を図る「臨港道路福井4号線」がH24年度に事業化。

資料）国土交通省 境港湾・空港整備事務所HP

4. 地域から期待される道路の役割（効果）

一般国道9号　浜田・三隅道路

課題①：国道9号で発生する朝・夕の渋滞

●：主要渋滞箇所

⇒損失時間の削減

課題②：国道9号の道路構造に課題のある区間の存在

●：急カーブ区間（平面曲線半径 R＜150m）　■：急勾配区間（縦断勾配 i＞5%）

■：歩道未整備区間　▲：要防災対策箇所

⇒道路構造不良箇所の回避による快適で安全な走行

課題③：国道9号の交通事故・致死率

★：死亡事故発生箇所（H20～H23 ITARDAデータ）　☆：死傷事故率が高い箇所（H20～H23 ITARDAデータ）

※死傷事故率200件／億台キロ以上

⇒多発する交通事故（死亡事故等）の削減

課題④：交通事故・積雪により頻発する国道9号の通行止め

✕：全面通行止め箇所（H20～H24）

⇒代替路線の確保、東西幹線軸の強化

課題⑤：重症患者の救急救命

⇒搬送時間の短縮や安静搬送による救命率の向上

課題⑥：交流・観光の活性化

⇒観光など広域交流の促進や地域活性化

課題⑦：物流ネットワークの形成

⇒物流拠点（浜田港）へのアクセス時間短縮による物流の効率化

【凡例】

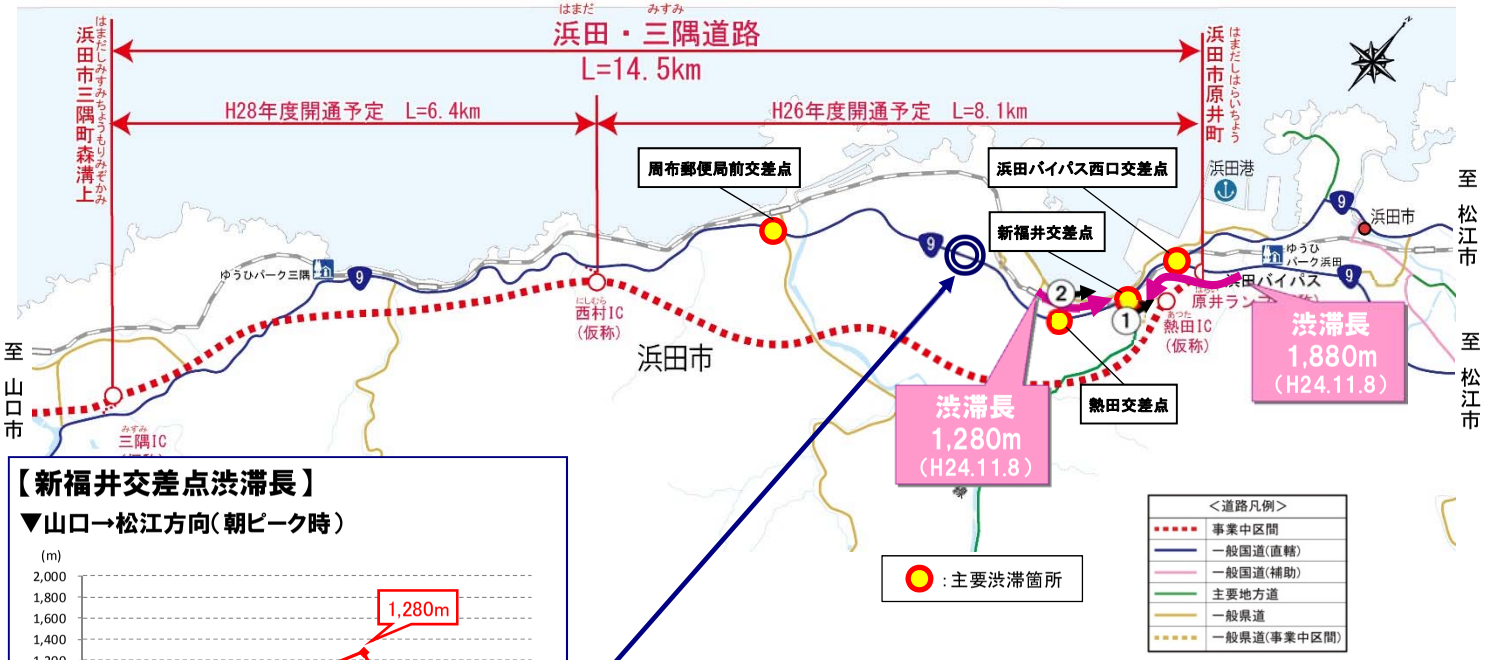
⇒：期待される道路の役割（効果）

4. 地域から期待される道路の役割（効果）

一般国道9号　浜田・三隅道路

課題①：国道9号で発生する朝・夕の渋滞

・並行する国道9号の交通量は増加傾向にあり、4箇所の主要渋滞箇所が存在している。
・特に新福井交差点では、朝・夕ピーク時の交通集中により、1,800mを超える渋滞が発生している。
・浜田・三隅道路の整備により、渋滞の緩和が期待される。

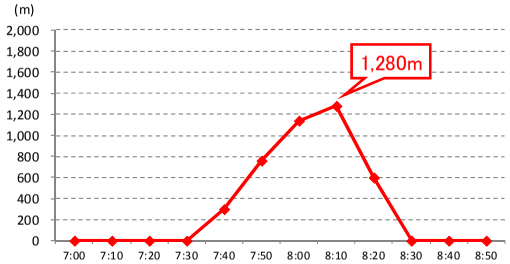


▲新福井交差点での渋滞状況（夕）

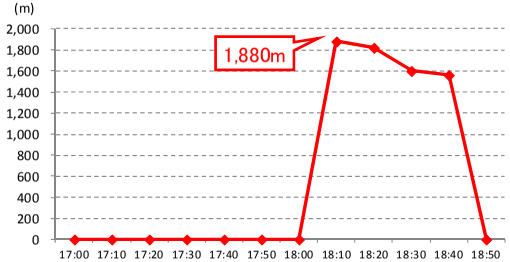
▲浜田市熱田町付近での渋滞状況（朝）

【新福井交差点渋滞長】

▼山口→松江方向（朝ピーク時）

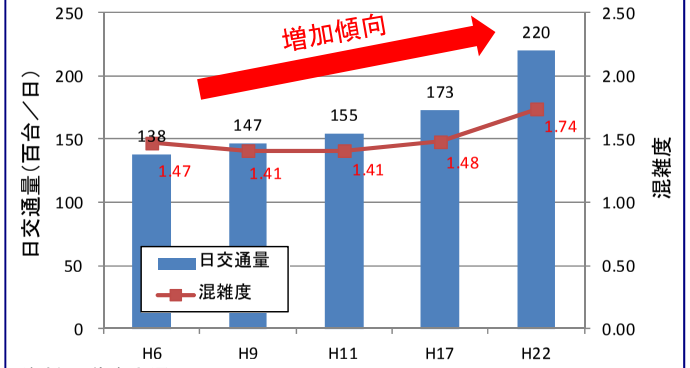


▼松江→山口方向（夕ピーク時）



※H24年11月8日（木）調査

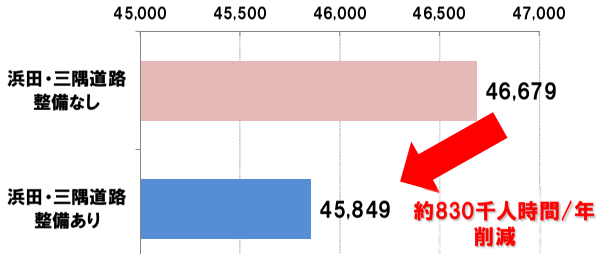
【浜田市長浜町付近の交通量の推移】



資料）道路交通センサス（H6～H22）

期待される道路の役割（効果）

〔損失時間の削減〕

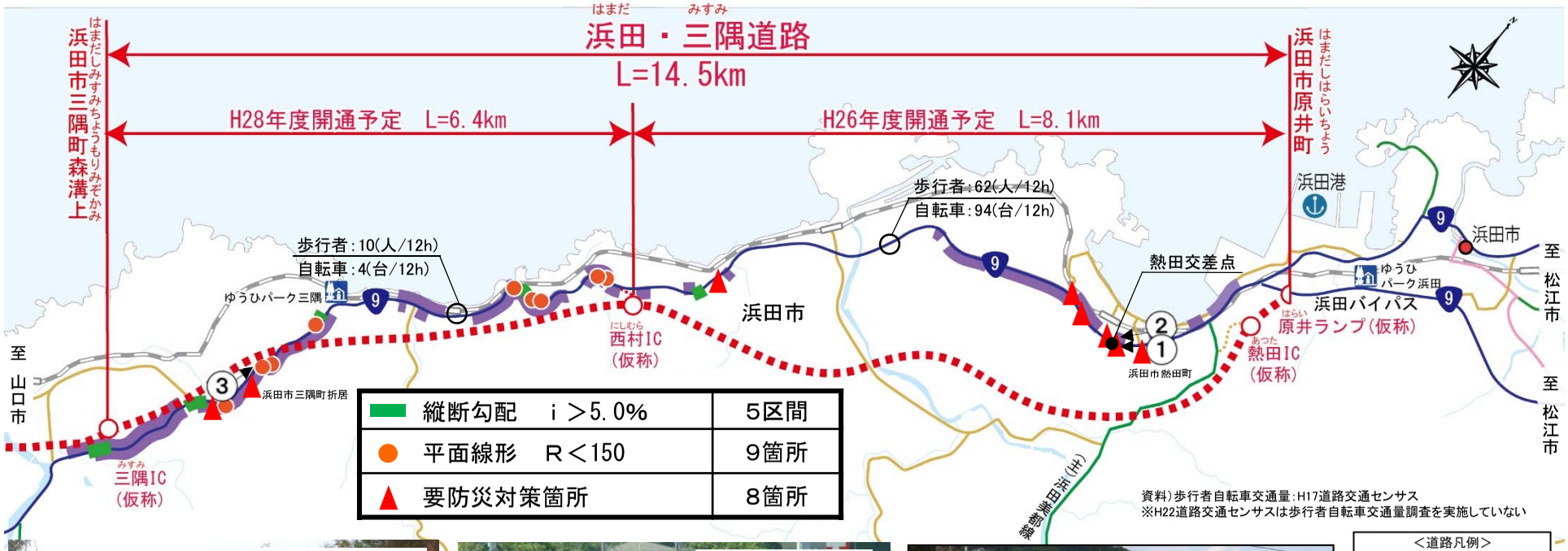


損失時間は、費用便益分析算出対象エリアを対象に算出。
※H42交通量配分結果をもとに対象路線の整備あり・なしのケースの交通量・旅行速度を用いて算出

4. 地域から期待される道路の役割(効果)

課題②:国道9号の道路構造に課題のある区間の存在

・並行する国道9号は急カーブや歩道の未設置区間、要防災対策箇所など道路構造に多くの課題があり、走行車両や沿道住民の安全性が確保できていない箇所が点在している。
・浜田・三隅道路の整備により、安全で快適な走行が期待される。



③ 浜田市三隅町折居

② 浜田市熱田町(熱田交差点)

① 浜田市熱田町(熱田交差点)

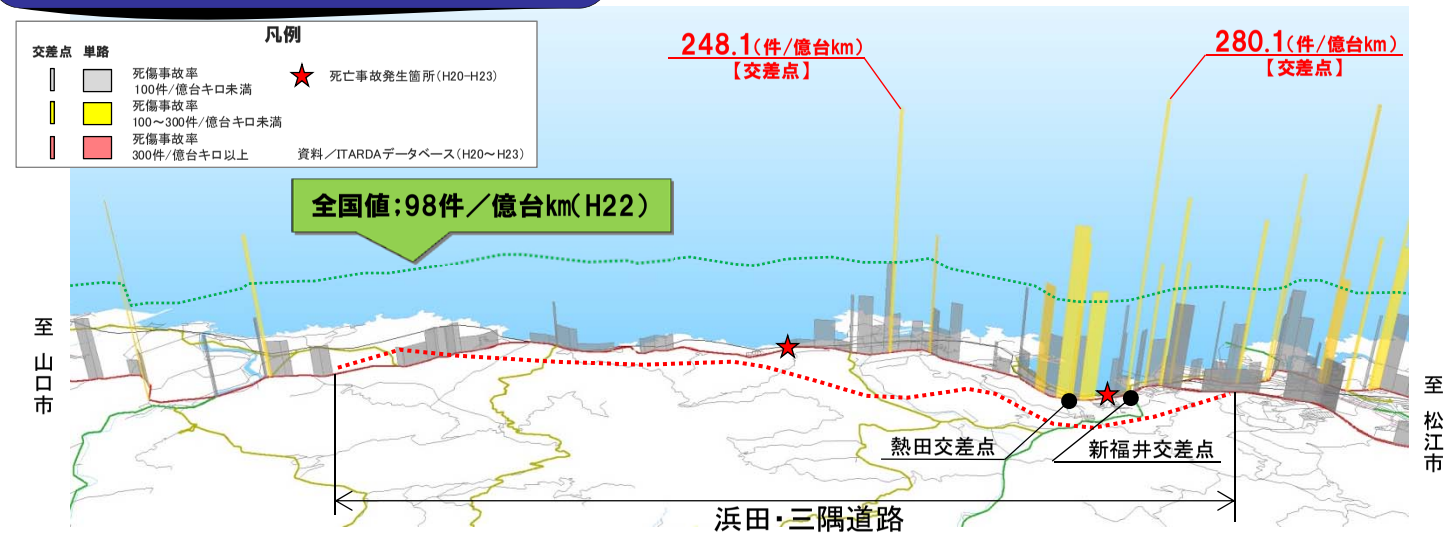
4. 地域から期待される道路の役割（効果）

一般国道9号　浜田・三隅道路

課題③：国道9号の交通事故

・並行する国道9号では、死傷事故率の全国平均を上回る区間が点在しており、特に新福井交差点付近での交通混雑に伴う追突事故が多発している。
・また、並行する国道9号における交通事故致死率は全国平均の約2倍と高く、事故対策は喫緊の課題である。
・浜田・三隅道路の整備により、死傷事故件数の削減が期待される。

事故発生状況（死傷事故率3Dマップ）

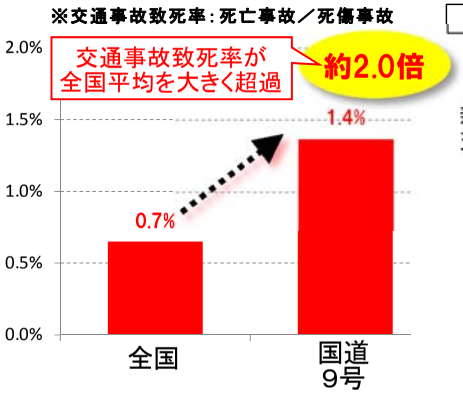


▲事故写真
発生日：平成23年3月21日
発生場所：浜田市三隅町白砂

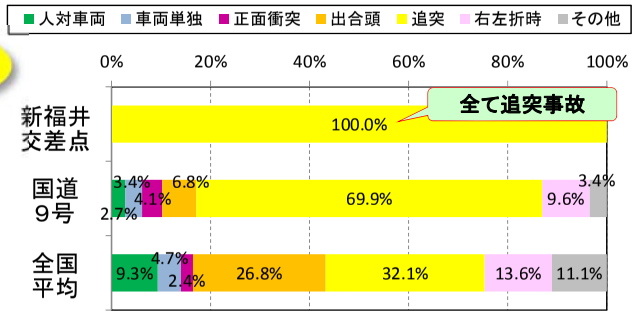
▲事故写真
発生日：平成25年8月22日
発生場所：浜田市三隅町白砂

国道9号の事故発生状況

＜交通事故致死率＞



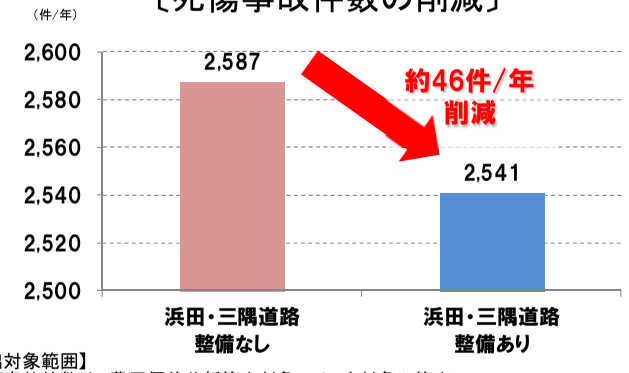
＜事故類型割合＞



資料）ITARDAデータ※H20-23の4箇年合計で集計、全国値は交通統計（ITARDA）を使用
注）国道９号とは浜田・三隅道路の並行区間を指す

期待される道路の役割（効果）

〔死傷事故件数の削減〕



【算出対象範囲】
・死傷事故件数は、費用便益分析算出対象エリアを対象に算出。
※H42交通量配分結果をもとに対象路線の整備あり・なしのケースの交通量を用いて算出。

4. 地域から期待される道路の役割（効果）

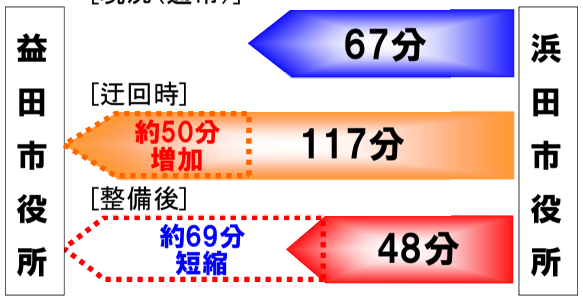
一般国道9号　浜田・三隅道路

課題④：交通事故・積雪により頻発する国道9号の通行止め

・並行する国道9号では、交通事故や積雪による全面通行止めが年間平均で2回発生（約1．4時間／年）。
・通行止めに伴い、著しい渋滞や、大幅な迂回を強いられるなど、生活や物流に大きな支障をきたしている。
・浜田・三隅道路の整備により、代替路が確保され道路の信頼性向上や東西幹線の強化が期待される。

期待される道路の役割（効果）

〔迂回時の所要時間短縮〕



※浜田・三隅道路はV＝70km/h、その他はH22道路交通センサスの混雑時旅行速度より算出
※所要時間短縮効果には三隅・益田道路V＝70km/hの効果も含む

浜田・三隅道路に並行する国道9号の
全面通行止め回数：2．0回／年
累積規制時間：1．4時間／年
H20-H24平均

※H22道路交通ｾﾝｻｽ混雑時旅行速度で算出

▲浜田市三隅町白砂（はまだ　みすみちょう しらすな）
大型車がスリップし、上下線封鎖
（発生日：平成22年3月10日）

▲浜田市三隅町折居（はまだ　みすみちょうおりい）での渋滞状況
（発生日：平成22年3月10日）

▲浜田市三隅町森溝上（はまだ　みすみちょうもりみぞかみ）
全面通行止めの状況
（発生日：平成25年3月）

▲主要地方道34号線　浜田美都線（はまだ　みと）

～地域の声～

①足止めや予定変更が発生して困っている
◆目的地に到着できないために予定を変更。
◆事故のための１時間ほどの渋滞中にトイレに行けず困った。

②小型車（乗用車）でも迂回は難しい。（したくない）
◆国道９号以外の周辺道路が狭すぎて、そこを抜けるのに時間がかかり、精神的にも困ぱい。
◆国道９号以外の周辺道路は狭い道が多いので、対向車が現れて立ち往生。

（H21益田市・浜田市住民アンケート）

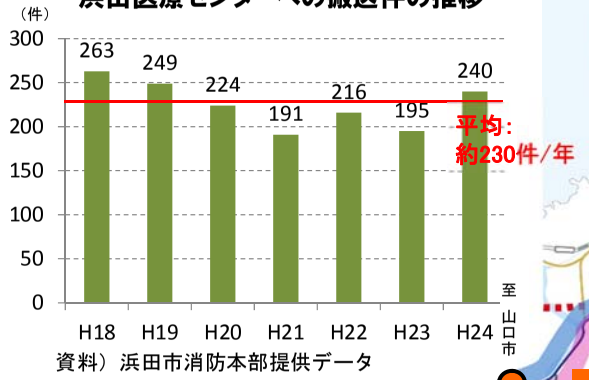
4. 地域から期待される道路の役割（効果）

一般国道9号　浜田・三隅道路

課題⑤：重症患者の救急救命

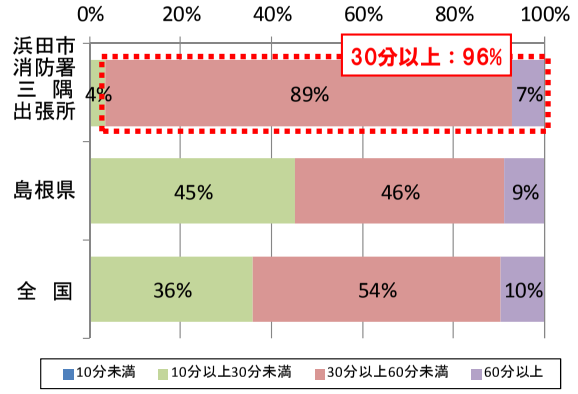
・浜田市三隅町には救急病院がないため、浜田市消防署三隅出張所では年間約380件の搬送のうち、約6割（約230件/年）を第3次医療機関である浜田医療センターへ搬送している。
・三隅出張所での収容時間は約9割が30分以上要しており、全国平均と比べると救急医療搬送の水準が低い。
・浜田・三隅道路の整備により、浜田医療センターへの搬送時間の短縮や安静な搬送が可能となり、救急医療の支援が期待される。

■浜田市消防署三隅出張所から浜田医療センターへの搬送件の推移

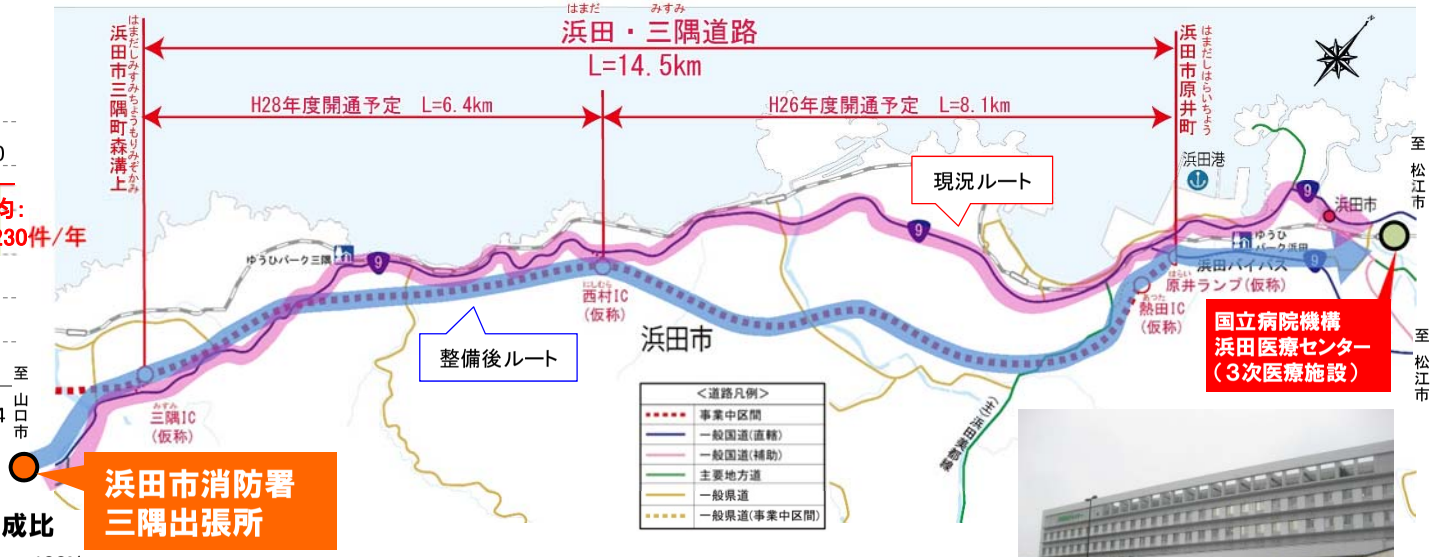


資料）浜田市消防本部提供データ

■覚知から病院までの収容時間別構成比



資料）三隅出張所値：H25浜田市消防本部提供データ
島根県値・全国値：H24年版救急救助の現況（総務省消防局）
※島根県値と全国値はH23年中



▲国立病院機構　浜田医療センター

期待される道路の役割（効果）

〔三隅出張所から浜田医療センターの救急搬送時間の短縮〕

※　現　況：H22道路交通センサスの規制速度で算出
（三隅出張所から直接浜田医療センターまで向かった時間）
整備後：浜田三隅道路はV＝70km/h、その他は
H22道路交通センサスの規制速度より算出

～消防の声～

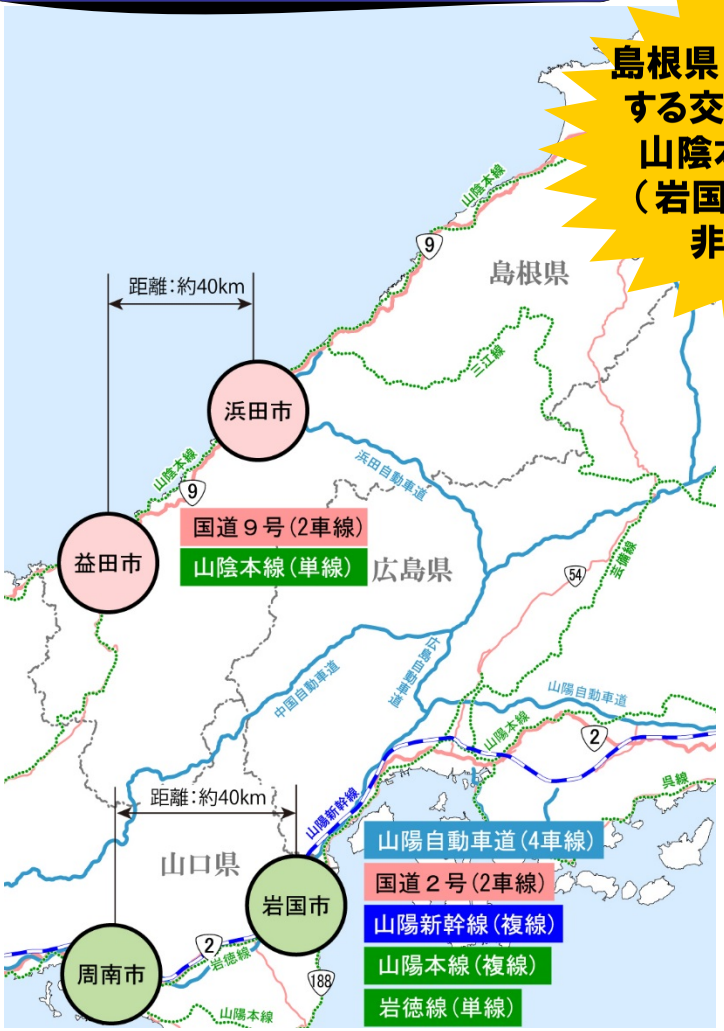
・国道9号が通行止めになった場合の代替路に良い道はない。患者への負担は大きく、患者搬送ルートとして適していない。
・国道９号はカーブの連続区間が多く、非常に危険。また、朝夕の渋滞時には、道路幅も狭いことから、追い越し走行が出来ない。
（H25浜田消防本部ヒアリング）

4. 地域から期待される道路の役割（効果）

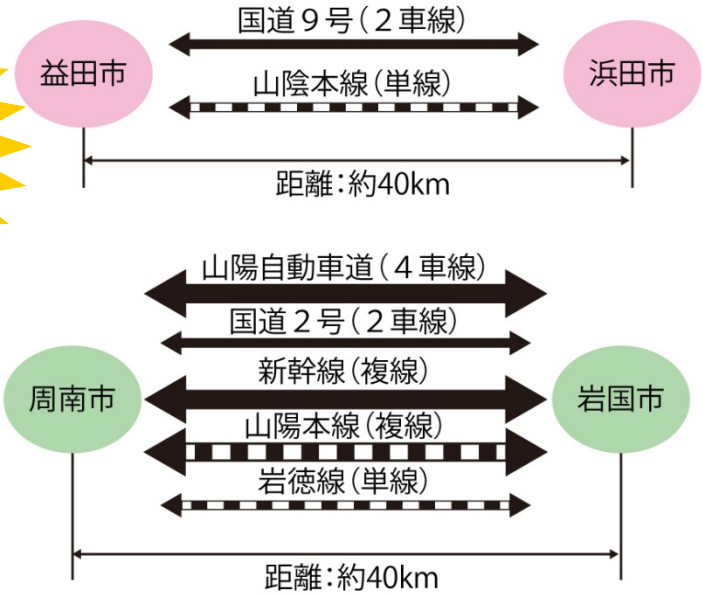
課題⑥：交流・観光の活性化①

・山陰の東西を連絡する交通網は、国道9号（２車線）とJR山陰本線（単線）のみと脆弱であり、山陽側と比べ交通手段には大きな格差がある。
・浜田・三隅道路の整備により、観光など広域交流の促進や地域活性化が期待される。

山陰・山陽の交通手段の比較



島根県内の浜田と益田を連絡する交通機関は、国道9号と山陰本線しかなく、山陽側（岩国－周南）と比較して、非常に脆弱である。



【山陰と山陽の交通手段の比較】

		周南市～岩国市	益田市～浜田市
鉄道	在来線	87 便/日	41 便/日
	新幹線	44 便/日	－
バス	路線バス	10 便/日	12 便/日
	高速バス	－	－
計		141 便/日	53 便/日

資料）H25.11.7時点各社時刻表データ

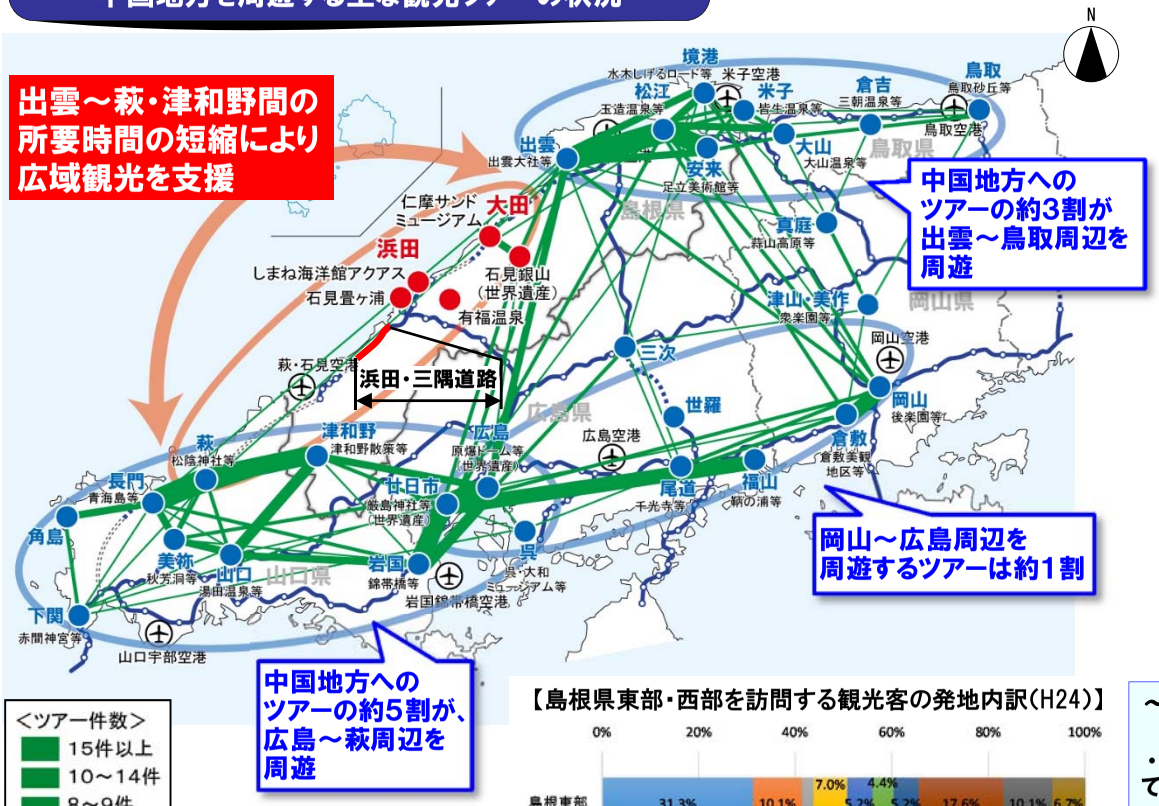
4. 地域から期待される道路の役割（効果）

一般国道9号　浜田・三隅道路

課題⑥：交流・観光の活性化②

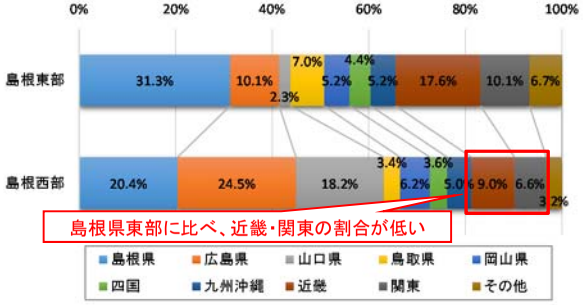
・浜田・三隅道路の整備により、東西方向の移動時間が短縮され、広域的な周遊観光への高まりや、観光客数が伸び悩んでいる島根西部の観光の活性化が期待される。

中国地方を周遊する主な観光ツアーの状況



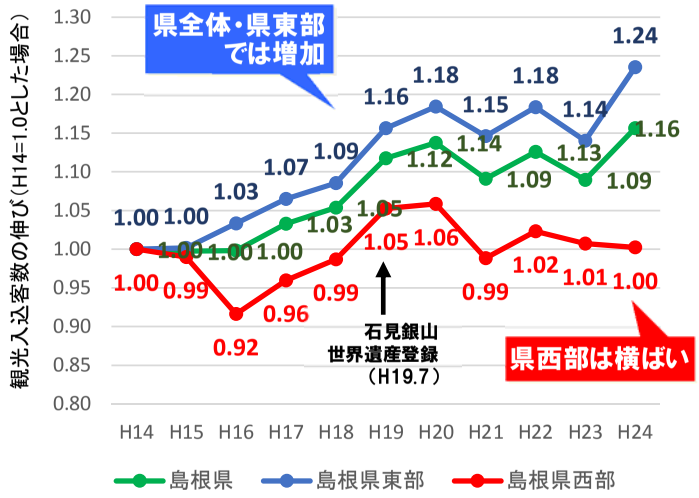
※）JTBで取り扱っている中国国内ツアー（H25.8.29時点におけるHP掲載情報）の内、添乗員が同行するツアーのみを対象に集計。
※）設定時期、出発着空港、プラン（料金・グレード等）のみが異なる場合は同一のツアーとみなした。
※）ウォーキングを主たる目的としたツアーや、鉄道を主たる移動手段とするツアーは対象外とした（クルーズ船での観光を含むツアーについては、陸上での移動に関する部分のみを対象とした）。
※）線の太さは、ツアーで組まれている周遊コース数の多さを表す。

【島根県東部・西部を訪問する観光客の発地内訳（H24）】



※島根東部は「松江城・玉造温泉街・由志園・松江フォーゲルパーク（松江市）」、「足立美術館（安来市）」、「出雲大社・道の駅キララ多伎（出雲市）」、島根西部は「石見銀山（大田市）」、「石見海浜公園（浜田市）」、「太鼓稲荷神社（津和野町）」で実施したアンケート調査結果（回答者の住所）に基づく。
資料）「平成24年島根県観光動態調査」島根県

【島根県内の観光入込客数の推移（H14=1.0）】



資料）「島根県観光動態調査」島根県

～地域の声～

・石見銀山遺跡や出雲大社など県内の観光地を多くの観光客に巡ってもらうためにも、移動に時間が掛からない高速道路は必要だ。
（H24.9.29益田市長（山陰中央新報企画特集より））

・山陰（島根県西部）を縦断する道路が９号線しかなくて、松江・出雲・浜田・益田・津和野をセットの観光コースと組めない。
（H24.11企業アンケート）

・観光交通を誘致するには、アクセス道路としての高速道路をネットワーク化することが不可欠であり、高速バス利用者も含め観光客の周遊化も期待される。　（H24.12浜田商工会議所ヒアリング）

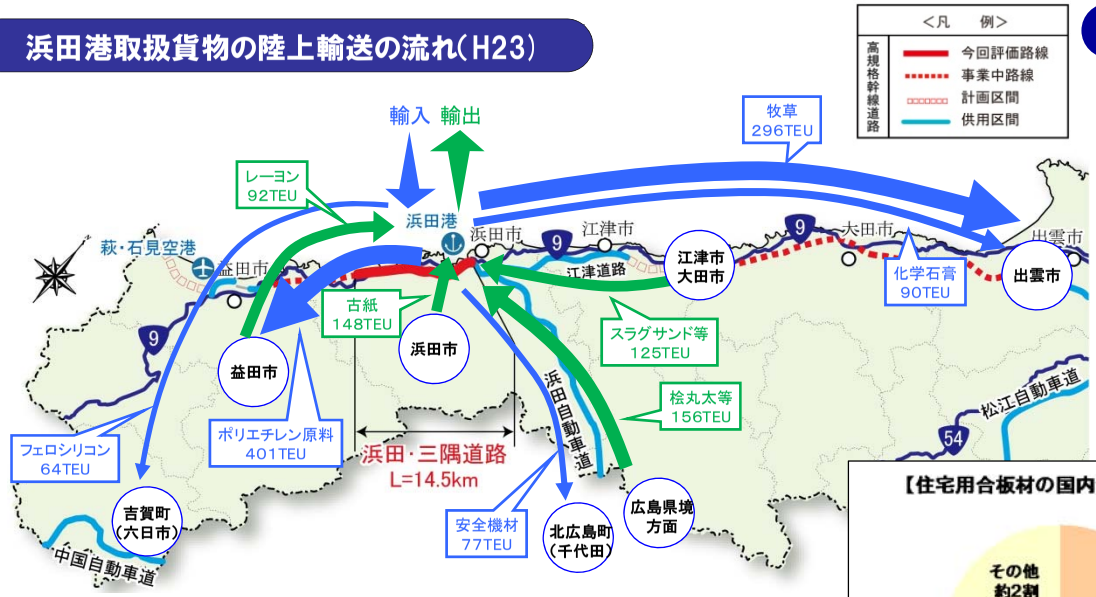
4. 地域から期待される道路の役割（効果）

一般国道9号　浜田・三隅道路

課題⑦：物流ネットワークの形成

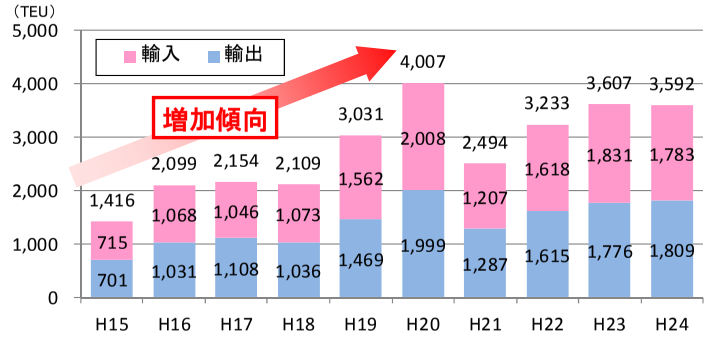
・浜田港（重点港湾）は韓国、ロシア、中国に近い好立地を活かし、日本海側拠点港（原木）に指定される等、重要性が高まっている。
・また、浜田港周辺には合板材を製造する工場が立地しており、国道9号を主要ルートとして製品が出荷されている。
・浜田・三隅道路の整備により、浜田港を活かした物流の効率化、国際・国内貿易の促進が期待される。

浜田港取扱貨物の陸上輸送の流れ（H23）



※）1TEUは、20フィートコンテナ1個分を示す。
※）図中の輸送先（輸送元）は搬入量（搬出量）が多い代表的な地域を示している。
資料）浜田港振興会

外貿コンテナ貨物取扱量の推移



資料）中国地方の港湾における国際コンテナ貨物取扱量（国土交通省中国地方整備局）
※TEU：20フィートコンテナを1単位とする、貨物量を表す単位

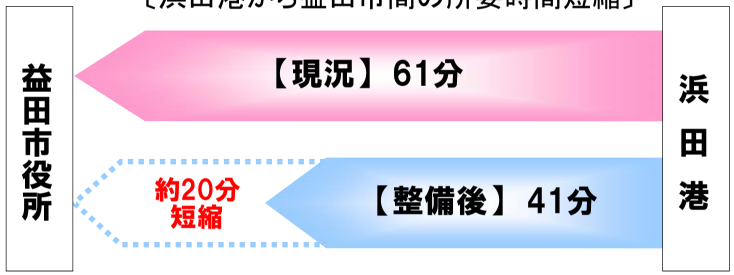
【住宅用合板材の国内シェア※】　【浜田港周辺における木材品の製造拠点】

▲合板材

資料）島根県内の合板製造企業Nグループへのヒアリング結果（H24）より

期待される道路の役割（効果）

〔浜田港から益田市間の所要時間短縮〕



※　現　況：H22道路交通ｾﾝｻｽ混雑時旅行速度で算出
　　整備後：浜田三隅道路はＶ＝70km/h、その他はH22道路交通ｾﾝｻｽの混雑時旅行速度より算出
※所要時間短縮効果には三隅・益田道路Ｖ＝70km/hの効果も含む

～地域の声～

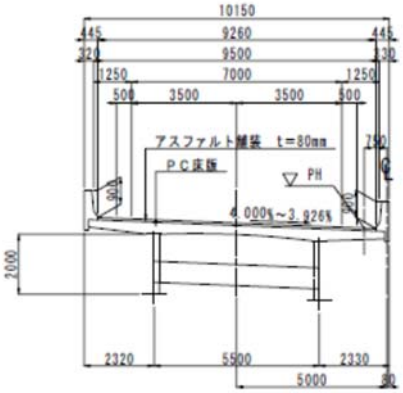
・浜田港と高速道路の接続はぜひとも必要。山陰道が整備されれば、浜田港へのアクセスが飛躍的に改善され、原材料の輸入、製品の輸出が効率的になる。浜田港をもっと活かすためには欠かせない。（H21企業ヒアリング）
・アクセスルートが国道９号１本しかないことは、港の利用が敬遠される理由となる。
・山陰道の整備により、リードタイムの短縮や輸送コストの削減が進めば、利用企業の増加、ひいては定期航路の拡大につながり、さらなる利用促進が期待できる。（H24.8浜田港振興会ヒアリング）

5. コスト縮減に関する取り組み

工事名	内容	縮減額
白砂橋高架橋PC上部工事	コンクリート橋上部工にPCコンポ橋を採用	0．7億円

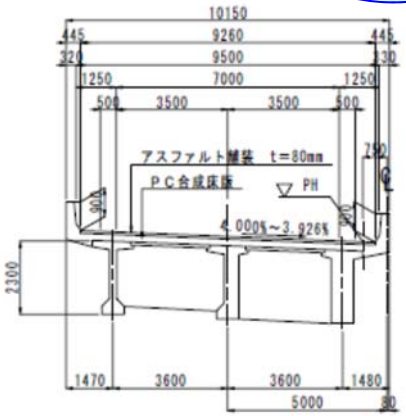
・ＰＣコンポ橋とは工場製作のセグメント化された主げたを組み立て、その上にＰＣ板を敷設する工法であり、現場作業の省力化、主げたの少数化が期待できる工法である。
・鋼橋２主桁橋をＰＣコンポ橋に変更することでコスト縮減を図っている。

従　来

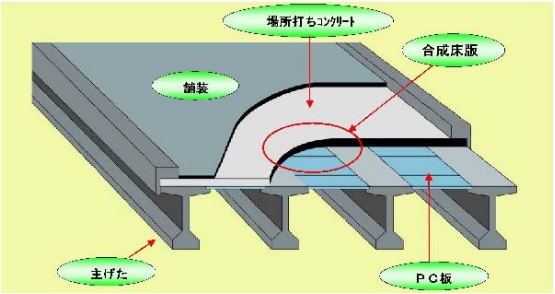


【従来】鋼橋2主げた橋

新



【新】PCコンポ橋



■白砂高架橋の施工例

▲ 主げたの組み立て

▲ PC板の敷設

▲ PCコンポけた下

▲ 完成後

6. 事業の効果

・地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理。

◆3便益による費用便益比

（億円）

項　目	全体事業	残事業
費用(C)	652	140
事業費	601	89
維持管理費	51	51
便益額(B)	948	948
走行時間短縮便益	700	700
走行経費減少便益	176	176
交通事故減少便益	73	73
費用便益比	1.5	6.8

便益計測対象項目	内容
走行時間短縮便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行時間が短縮される効果を貨幣価値として算出したもの。
走行経費減少便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行条件が改善されることによる走行に必要な経費（燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両整備費、車両償却費）の減少効果を対象として算出したもの。 なお、走行時間に含まれない経費を対象として算出している。
交通事故減少便益	周辺道路も含め、道路整備による交通量等の変化に伴う、交通事故による社会的損失（運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構築物に関する物的損害額等）が減少する効果を貨幣価値として算出したもの。

◆道路の役割

◇道路の役割

①環境への影響を考慮した効果[約8.5千ﾄﾝ/年のCO2削減]【+4.5億円】※1
　浜田・三隅道路整備に伴う速度向上による環境（CO2）の改善効果を算定
②重症患者の救急救命[例　浜田市消防署三隅出張所～浜田医療センターまでの所要時間短縮約3分]
③交通・物流拠点へのアクセスの支援[例　益田市役所～浜田港までの所要時間短縮約20分]※2
④道路構造不良箇所の回避[縦断線形 i>5.0%：5区間、平面線形 R＜150m：9箇所]
⑤沿道環境の改善 [NOX排出量：約27.9千ﾄﾝ/年（約0.6%削減）、SPM排出量：約2.2千ﾄﾝ/年（約0.8%削減）

※1：【　】は、開通後50年間の便益額として試算した値（参考値）
※2：三隅・益田道路の効果を含む

計画交通量	総事業費	総費用(C)	3便益(B)	その他の便益	費用対効果(B/C) （　）内は残事業B/C
16,700台／日～17,700台／日	約571億円	652億円	948億円	＋α	1.5（6.8）＋α

※基準年：H25年

7. 今後の対応方針

1.再評価の視点

①事業の必要性の視点

1） 事業を巡る社会情勢等の変化

◇並行する国道９号では、朝夕ピーク時の渋滞や交通事故が多発している。
◇国道９号で交通事故、災害等が発生した場合、近傍に回避できる道路が存在しない。

2） 事業の効果

◇費用便益比（Ｂ／Ｃ）＝１．５（事業全体）　６．８（残事業）
◇道路の役割
①環境への影響を考慮した効果［約8.5千ﾄﾝ/年のＣＯ2削減］【+4.5億円】※1
浜田・三隅道路整備に伴う速度向上による環境（ＣＯ2）の改善効果を算定
②重症患者の救急救命［例　浜田市消防署三隅出張所～浜田医療センターまでの所要時間短縮約３分］
③交通・物流拠点へのアクセスの支援［例　益田市役所～浜田港までの所要時間短縮約２０分］※2
④道路構造不良箇所の回避［縦断線形 i>5.0%：５区間、平面線形 Ｒ＜150m：９箇所］
⑤沿道環境の改善[NOX排出量：約27.9千ﾄﾝ/年（約0.6%削減）、SPM排出量：約2.2千ﾄﾝ/年（約0.8%削減）

※1:【 】は、開通後50年間の便益額として試算した値（参考値）
※2:三隅・益田道路の効果を含む

3） 事業の進捗状況

◇平成24年度末現在で用地買収については96%完了しており、現在はトンネル・橋等の工事を推進中。

②事業の進捗見込み

◇原井ランプ（仮称）～西村IC（仮称）を平成26年度、西村IC（仮称）～三隅IC（仮称）を平成28年度の開通を予定している。

③コスト縮減や代替案立案等の可能性

◇新工法の導入（PCコンポ橋の導入）等により、総合的なコスト縮減を図っている。【約０．７億円】

2.県への意見照会結果

島根県知事の意見：対応方針（原案）について妥当である。
一般国道９号浜田・三隅道路は、重点港湾浜田港を活かした物流の活性化、企業誘致の促進、事故・災害時の代替道路機能の確保、救急医療活動の支援を始め、地域産業の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠な路線であり、既に明示されている平成２８年度での確実な供用を図って頂きたい。
また、その他の山陰道の各区間についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、２０２０年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。

なお、道路利用者から声が上がっているトイレ等の休憩施設について、現道の道の駅への案内誘導等、配慮願いたい。

【今後の対応方針（原案）】

◇上記①、②の各視点により、以上の状況を勘案すれば、事業の必要性・重要性は変わらないと考えられるため、今後とも事業継続が妥当。
◇今後の事業実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、効率的な事業実施に努める。

＜参考資料＞

◆浜田・三隅道路　前回評価時との比較

	前回再評価 （平成22年度）	今回再評価 （平成25年度）	備考 （前回評価時からの主な変更点）
事業諸元	L＝14.5km	L＝14.5km	
計画交通量	16,500～17,200 台/日	16,700～17,700 台/日	・ネットワーク設定の見直し（新規事業化箇所を考慮） ・将来交通需要推計の改善について【中間とりまとめ】に示された第二段階の改善を反映
総事業費	約571億円	約571億円	
総費用 （C）	594億円	652億円	・基準年の変更（H22基準からH25基準） ・開通年の変更（H30開通からH29開通）
総便益 （B）	652億円	948億円	・基準年の変更（H22基準からH25基準） ・開通年の変更（H30開通からH29開通） ・将来交通需要推計の改善について【中間とりまとめ】に示された第二段階の改善を反映
費用対効果 （B/C）	1.1	1.5	

※費用/便益は基準年における現在価値の値

一般国道９号浜田・三隅道路

〔費用便益比（Ｂ／Ｃ）算定等資料〕

様式１　客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道9号　浜田・三隅道路
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指　標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	事業全体：費用便益比（Ｂ／Ｃ）＝1.5　（経済的純現在価値（Ｂ－Ｃ）＝297億円、経済的内部収益率（ＥＩＲＲ）＝5.9%） 残 事 業：費用便益比（Ｂ／Ｃ）＝6.8　（経済的純現在価値（Ｂ－Ｃ）＝808億円、経済的内部収益率（ＥＩＲＲ）＝33.8%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指　標　（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1．活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a（費用便益分析対象区間）について 渋滞損失時間（整備無）：46,679千人・時間/年 渋滞損失削減時間：830千人・時間/年（46,679千人・時間/年⇒45,849千人・時間/年） 区間b（該当区間/並行区間）について 並行区間等（該当区間）の渋滞損失時間：914千人・時間/年（浜田・三隅道路【浜田市原井町～浜田市三隅町森溝上】） 並行区間等（該当区間）の渋滞損失削減時率：89%削減（914千人・時間/年⇒99千人・時間/年）
		■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	対象区間（浜田市熱田町）：改善見込み(旅行速度17.8km/h⇒40.0km/h)
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	石見交通の路線バスなど1日61便の利便性向上が見込まれる。
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	対象駅：浜田駅(特急停車駅)、対象自治体名：浜田市三隅支所、改善見込み：（三隅支所～浜田駅、38分⇒29分）
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	対象空港：萩･石見空港（第三種空港）、対象自治体：浜田市 改善見込み：（浜田市役所～萩・石見空港、65分⇒45分）※三隅・益田道路の効果を含む
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	対象港湾：浜田港（重要港湾）、対象自治体：益田市 改善見込み：（益田市役所～浜田港、61分⇒41分）※三隅・益田道路の効果を含む
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
1．活力	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		□ 中心市街地内で行う事業である	
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	

1．活力	国土・地域ネットワークの構築	■ 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	
		□ 地域高規格道路の位置づけあり	
		■ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	浜田市～益田市間を高規格幹線道路で連絡する
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	対象となる日常活動圏中心都市：浜田市～益田市
		□ 現道等における交通不能区間を解消する	
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	対象自治体名：浜田市三隅町、日常活動圏中心都市：浜田市、改善見込み：（34分⇒25分）
	個性ある地域の形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	対象観光地：しまね海洋館アクアス（H24観光入込み客数：39万人）
		□ 特別立法に基づく事業である	
		□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		□ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
2．暮らし	歩行者･自転車のための生活空間の形成	□ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		□ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	□ 対象区間が電線類地中化５ヶ年計画に位置づけ有り	
		□ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	対象となる三次医療施設名称：浜田医療センター、アクセス向上が見込まれる自治体名：浜田市三隅町（23分⇒20分） ※現道は規制速度で算出（H22道路交通センサス）

３．安全	安全な生活環境の確保	□ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		□ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	□ 近隣市へのルートが１つしかなく、災害による１～２箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	島根県の第一次緊急輸送道路に位置付け（国道９号）
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	緊急輸送道路路線名：国道９号 代替する区間：浜田市原井町～浜田市三隅町間
		■ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		■ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	並行する現道に要防災対策箇所が８箇所存在
		■ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		□ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
４．環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	（推計結果） 評価対象区間：便益算定対象範囲 排出削減量：約8.5千トン/年、排出削減率：約0.4%削減（整備なし約1,892千t/年、整備あり約1,884千t/年）
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間：便益算定対象範囲 排出削減量：27.9t／年、排出削減率：約0.6%削減（整備なし:4,911t／年⇒整備あり：4,883t／年）
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間：便益算定対象範囲 排出削減量：2.2t／年、排出削減率：約0.8%削減（整備なし:262t／年⇒整備あり：260t／年）
		■ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	(H21環境センサスでの現状) 環境基準値（昼間70dB、夜間65dB）は全箇所で超過し、要請限度（昼間75dB、夜間70dB）は治和町の夜間、熱田町の夜間で超過 （三隅町は昼間72dBで夜間70dB、治和町は昼間75dBで夜間75dB、日脚町は昼間71dBで夜間70dB、熱田町は昼間74dBで夜間71dB）。
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される	
５．その他	他のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄとの関係	■ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	「中国ブロックの社会資本の重点整備方針（H21.8）」に位置付けあり
		■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	一般国道９号 三隅・益田道路 臨港道路　福井４号線
		■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	島根県総合発展計画（第2次実施計画）　平成24年3月 浜田市総合振興計画（後期基本計画）　平成23年3月
		□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

様式－２

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道9号	浜田・三隅道路	L=14.5km	二次改築	ＢＰ

計画交通量（台/日）	車線数	事業主体
16,700～17,700	2	中国地方整備局

① 費　用

	事　業　費	維持管理費	合　　計
基 準 年	平成25年度		
単純合計	546億円	133億円	679億円
うち残事業分	96億円	133億円	229億円
基準年における現在価値（Ｃ）	601億円	51億円	652億円
うち残事業分	89億円	51億円	140億円

② 便　益

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合　　計
基 準 年	平成25年度			
供 用 年	平成29年度			
単年便益（初年便益）	37億円	9.3億円	4.2億円	51億円
基準年における現在価値（Ｂ）	700億円	176億円	73億円	948億円
うち残事業分	700億円	176億円	73億円	948億円

③ 結　果

費用便益比（事業全体）	1.5
経済的純現在価値（事業全体）	297億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.9%
費用便益比（残事業）	6.8
経済的純現在価値（残事業）	808億円
経済的内部収益率（残事業）	33.8%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（Ｂ／Ｃ）
交通量	16,700～17,700	±１０%	1.2～1.7
事業費	546億円	±１０%	1.4～1.5
事業期間	17年	±２０%	1.4～1.5

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（Ｂ／Ｃ）
交通量	16,700～17,700	±１０%	5.7～8.0
事業費	96億円	±１０%	6.4～7.2
事業期間	3年	±２０%	6.6～6.9

交通状況の変化

様式－３①

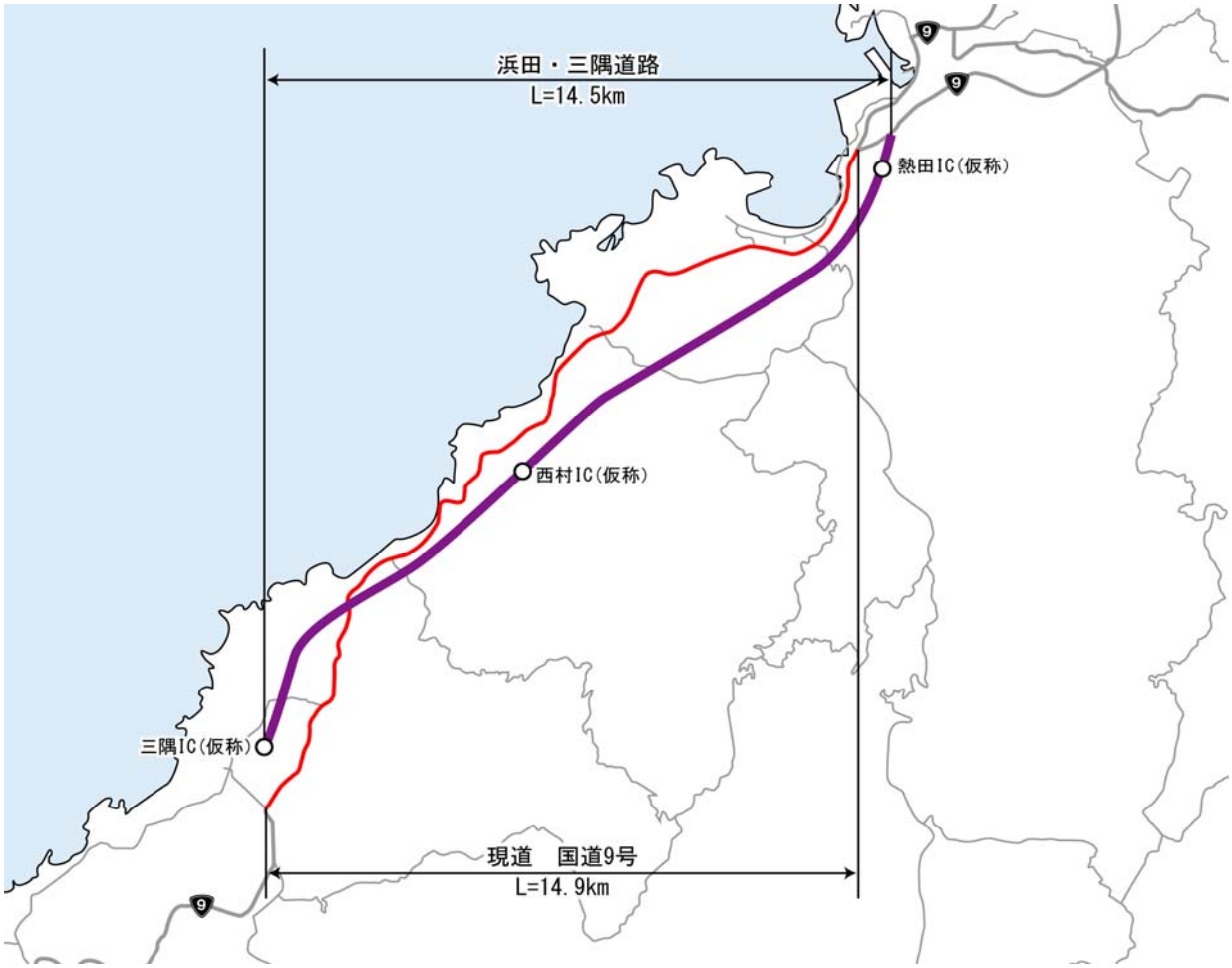
事業名：浜田・三隅道路（事業全体）

（推計時点　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路		交通量	[台/日]	－	17,000
		走行時間	[分]	－	12
：14.5km		走行時間費用	[億円/年]	－	41.44
②主な周辺道路	国道9号	交通量	[台/日]	19,400	3,300
		走行時間	[分]	23	21
	：14.9km	走行時間費用	[億円/年]	88.49	12.52
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計：5389.8km		走行時間費用	[億円/年]	4,261.43	4,257.83

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：5419.1km	走行時間短縮便益	[億円/年]	4,349.92	4,311.79	38.13

（２） 図面（①、②に該当する道路を明示すること）



交通状況の変化

様式－３①

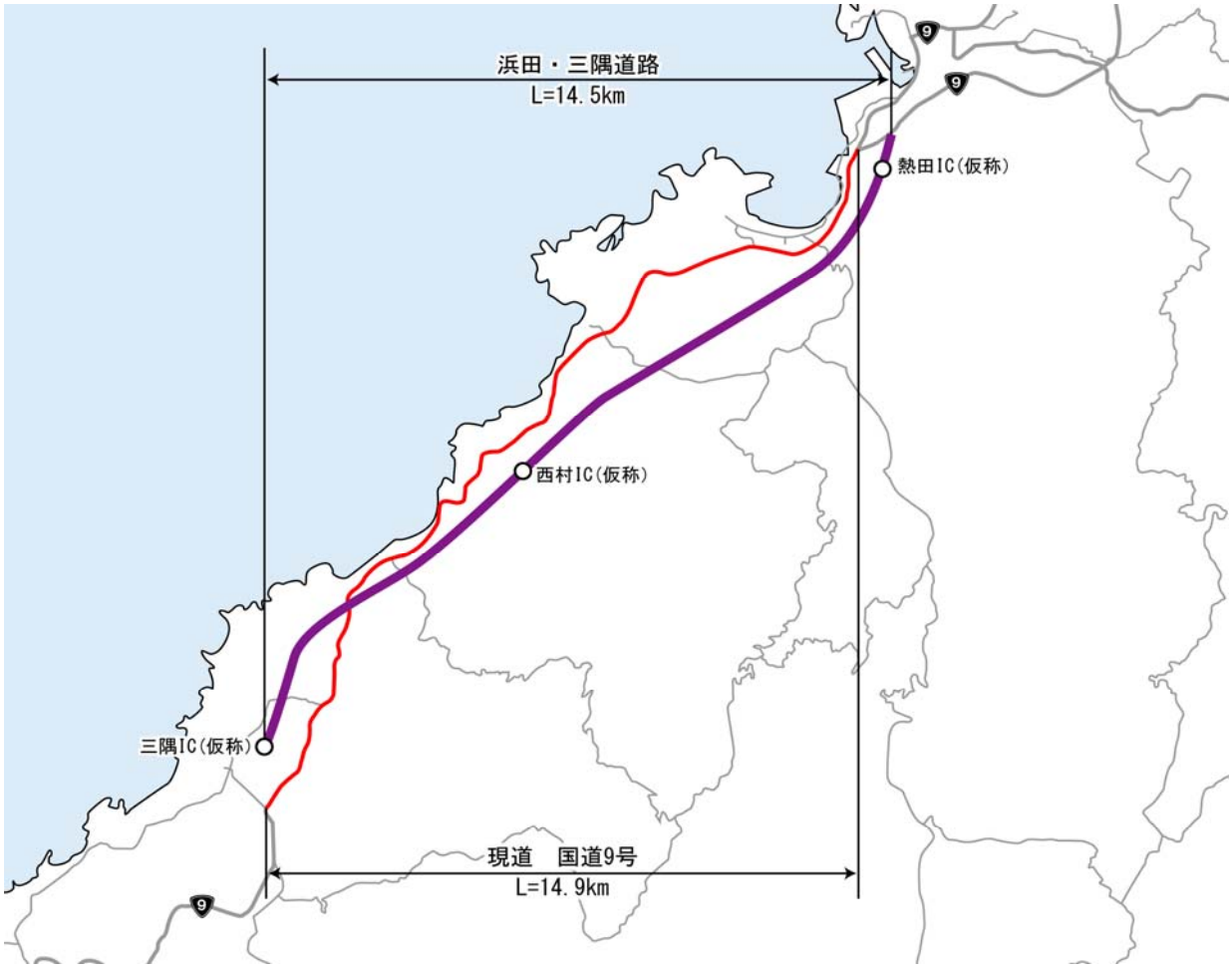
事業名：浜田・三隅道路（残事業）

（推計時点　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路		交通量	[台/日]	－	17,000
		走行時間	[分]	－	12
：14.5km		走行時間費用	[億円/年]	－	41.44
②主な周辺道路	国道9号	交通量	[台/日]	19,400	3,300
		走行時間	[分]	23	21
	：14.9km	走行時間費用	[億円/年]	88.49	12.52
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計：5389.8km		走行時間費用	[億円/年]	4,261.43	4,257.83

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：5419.1km	走行時間短縮便益	[億円/年]	4,349.92	4,311.79	38.13

（２） 図面（①、②に該当する道路を明示すること）



様式－３②

費用便益分析の条件

事業名：浜田・三隅道路

（2）

項目				チェック欄
算出マニュアル		費用便益分析マニュアル （平成20年11月　国土交通省　道路局　都市・地域整備局）		■
		その他		□
分析の基本的事項		分析対象期間		50年間
		社会的割引率		4%
		基準年次		平成25年度
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計		■（H42年）
		複数時点での推計		□
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		■
		整備の有無のいずれかのみ推計		□ 有　□ 無
		いずれかのみの推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 （三段階推定法）		■ （ H17センサス ）
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 （四段階推定法）		□
		その他（　　）		□
	開発交通量の考慮	無		■
		有		□
		有の場合のみ	考慮した開発交通量（トリップ数）	（　）台ﾄﾘｯﾌﾟ/日
			考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Q－V式を用いた配分		□
		転換率式を用いた配分		□
		Q－V式と転換率式の併用による配分		■
		均衡配分（リンクパフォーマンス関数を用いた配分）		□
		簡易手法		□
		簡易手法の採択理由	小規模事業である	□
			山間部海岸部で併行道路が少ない	□
			その他（　　）	
		簡易手法の考え方（将来交通量の設定方法等）		
		その他（　　）		□
	速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		□
		採用理由を記載		
		最終配分の速度		□
		採用理由を記載		
		その他（最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定）		■

事業名：浜田・三隅道路

（3）

項目				チェック欄
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	面的に考慮	□
			対象路線のみ考慮	□
			採用した休日係数	（　　）%
			休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	（　　）日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
			とり止め交通を考慮する	□
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	
	冬期交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	（　　）日
			採用した冬期日数の考え方を記載	
			冬期の走行速度と交通容量の関係	
			設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定		■
		その他（　　）		□
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
		算出根拠を添付すること		
	車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
		算出根拠を添付すること		
	交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮		□
		中央分離帯の有無を考慮しない		■
	走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない		■
		考慮する		□
		（考慮の場合、算出根拠を添付すること）		
	その他			

事業名：浜田・三隅道路

（4）

項目			チェック欄
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	■
		標準投資パターンを採用	□
		その他（　　）	□
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 実績を基に維持管理費を算出	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	■
	その他		
4．その他			

様式－４

費用の現在価値算定表

箇所名：浜田・三隅道路（事業全体）

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.19	14.5	2.80

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費(億円) 単純価値	事業費(億円) 現在価値	維持管理費(億円) 単純価値	維持管理費(億円) 現在価値
−17年目	H 12	1.6651	107.2	0.96	1.37		
−16年目	H 13	1.6010	105.7	0.96	1.34		
−15年目	H 14	1.5395	103.8	0.96	1.31		
−14年目	H 15	1.4802	102.3	2.12	2.83		
−13年目	H 16	1.4233	101.0	8.44	10.95		
−12年目	H 17	1.3686	99.6	17.82	22.55		
−11年目	H 18	1.3159	98.7	34.72	42.63		
−10年目	H 19	1.2653	97.6	79.44	94.85		
−9年目	H 20	1.2167	96.8	66.16	76.59		
−8年目	H 21	1.1699	95.6	69.79	78.66		
−7年目	H 22	1.1249	93.7	70.74	78.21		
−6年目	H 23	1.0816	92.1	40.62	43.93		
−5年目	H 24	1.0400	92.1	26.97	28.05		
−4年目	H 25	1.0000	92.1	30.55	30.55		
−3年目	H 26	0.9615	92.1	50.30	48.37		
−2年目	H 27	0.9246	92.1	19.45	17.98		
−1年目	H 28	0.8890	92.1	25.96	23.08		
供用開始年次	H 29	0.8548	92.1			2.67	2.28
1年目	H 30	0.8219	92.1			2.67	2.19
2年目	H 31	0.7903	92.1			2.67	2.11
3年目	H 32	0.7599	92.1			2.67	2.03
4年目	H 33	0.7307	92.1			2.67	1.95
5年目	H 34	0.7026	92.1			2.67	1.87
6年目	H 35	0.6756	92.1			2.67	1.80
7年目	H 36	0.6496	92.1			2.67	1.73
8年目	H 37	0.6246	92.1			2.67	1.67
9年目	H 38	0.6006	92.1			2.67	1.60
10年目	H 39	0.5775	92.1			2.67	1.54
11年目	H 40	0.5553	92.1			2.67	1.48
12年目	H 41	0.5339	92.1			2.67	1.42
13年目	H 42	0.5134	92.1			2.67	1.37
14年目	H 43	0.4936	92.1			2.67	1.32
15年目	H 44	0.4746	92.1			2.67	1.27
16年目	H 45	0.4564	92.1			2.67	1.22
17年目	H 46	0.4388	92.1			2.67	1.17
18年目	H 47	0.4220	92.1			2.67	1.13
19年目	H 48	0.4057	92.1			2.67	1.08
20年目	H 49	0.3901	92.1			2.67	1.04
21年目	H 50	0.3751	92.1			2.67	1.00
22年目	H 51	0.3607	92.1			2.67	0.96
23年目	H 52	0.3468	92.1			2.67	0.92
24年目	H 53	0.3335	92.1			2.67	0.89
25年目	H 54	0.3207	92.1			2.67	0.86
26年目	H 55	0.3083	92.1			2.67	0.82
27年目	H 56	0.2965	92.1			2.67	0.79
28年目	H 57	0.2851	92.1			2.67	0.76
29年目	H 58	0.2741	92.1			2.67	0.73
30年目	H 59	0.2636	92.1			2.67	0.70
31年目	H 60	0.2534	92.1			2.67	0.68
32年目	H 61	0.2437	92.1			2.67	0.65
33年目	H 62	0.2343	92.1			2.67	0.62
34年目	H 63	0.2253	92.1			2.67	0.60
35年目	H 64	0.2166	92.1			2.67	0.58
36年目	H 65	0.2083	92.1			2.67	0.56
37年目	H 66	0.2003	92.1			2.67	0.53
38年目	H 67	0.1926	92.1			2.67	0.51
39年目	H 68	0.1852	92.1			2.67	0.49
40年目	H 69	0.1780	92.1			2.67	0.47
41年目	H 70	0.1712	92.1			2.67	0.46
42年目	H 71	0.1646	92.1			2.67	0.44
43年目	H 72	0.1583	92.1			2.67	0.42
44年目	H 73	0.1522	92.1			2.67	0.41
45年目	H 74	0.1463	92.1			2.67	0.39
46年目	H 75	0.1407	92.1			2.67	0.38
47年目	H 76	0.1353	92.1			2.67	0.36
48年目	H 77	0.1301	92.1			2.67	0.35
49年目	H 78	0.1251	92.1	−20.26	−2.53	2.67	0.33
合　計				525.70	600.72	133.33	50.93

単純事業費計	545.96	133.33

注1）事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
　このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－４

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.19	14.5	2.80

箇所名：浜田・三隅道路（残事業）

年次	年度	割戻率	GDP ﾃﾞﾌﾚｰﾀ	事業費(億円) 単純価値	事業費(億円) 現在価値	維持管理費(億円) 単純価値	維持管理費(億円) 現在価値
-3年目	H 26	0.9615	92.1	50.30	48.37		
-2年目	H 27	0.9246	92.1	19.45	17.98		
-1年目	H 28	0.8890	92.1	25.96	23.08		
供用開始年次	H 29	0.8548	92.1			2.67	2.28
1年目	H 30	0.8219	92.1			2.67	2.19
2年目	H 31	0.7903	92.1			2.67	2.11
3年目	H 32	0.7599	92.1			2.67	2.03
4年目	H 33	0.7307	92.1			2.67	1.95
5年目	H 34	0.7026	92.1			2.67	1.87
6年目	H 35	0.6756	92.1			2.67	1.80
7年目	H 36	0.6496	92.1			2.67	1.73
8年目	H 37	0.6246	92.1			2.67	1.67
9年目	H 38	0.6006	92.1			2.67	1.60
10年目	H 39	0.5775	92.1			2.67	1.54
11年目	H 40	0.5553	92.1			2.67	1.48
12年目	H 41	0.5339	92.1			2.67	1.42
13年目	H 42	0.5134	92.1			2.67	1.37
14年目	H 43	0.4936	92.1			2.67	1.32
15年目	H 44	0.4746	92.1			2.67	1.27
16年目	H 45	0.4564	92.1			2.67	1.22
17年目	H 46	0.4388	92.1			2.67	1.17
18年目	H 47	0.4220	92.1			2.67	1.13
19年目	H 48	0.4057	92.1			2.67	1.08
20年目	H 49	0.3901	92.1			2.67	1.04
21年目	H 50	0.3751	92.1			2.67	1.00
22年目	H 51	0.3607	92.1			2.67	0.96
23年目	H 52	0.3468	92.1			2.67	0.92
24年目	H 53	0.3335	92.1			2.67	0.89
25年目	H 54	0.3207	92.1			2.67	0.86
26年目	H 55	0.3083	92.1			2.67	0.82
27年目	H 56	0.2965	92.1			2.67	0.79
28年目	H 57	0.2851	92.1			2.67	0.76
29年目	H 58	0.2741	92.1			2.67	0.73
30年目	H 59	0.2636	92.1			2.67	0.70
31年目	H 60	0.2534	92.1			2.67	0.68
32年目	H 61	0.2437	92.1			2.67	0.65
33年目	H 62	0.2343	92.1			2.67	0.62
34年目	H 63	0.2253	92.1			2.67	0.60
35年目	H 64	0.2166	92.1			2.67	0.58
36年目	H 65	0.2083	92.1			2.67	0.56
37年目	H 66	0.2003	92.1			2.67	0.53
38年目	H 67	0.1926	92.1			2.67	0.51
39年目	H 68	0.1852	92.1			2.67	0.49
40年目	H 69	0.1780	92.1			2.67	0.47
41年目	H 70	0.1712	92.1			2.67	0.46
42年目	H 71	0.1646	92.1			2.67	0.44
43年目	H 72	0.1583	92.1			2.67	0.42
44年目	H 73	0.1522	92.1			2.67	0.41
45年目	H 74	0.1463	92.1			2.67	0.39
46年目	H 75	0.1407	92.1			2.67	0.38
47年目	H 76	0.1353	92.1			2.67	0.36
48年目	H 77	0.1301	92.1			2.67	0.35
49年目	H 78	0.1251	92.1	0.00	0.00	2.67	0.33
合 計				95.71	89.43	133.33	50.93

単純事業費計	95.71	133.33

注1）事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－５

便益の現在価値算定表

箇所名：浜田・三隅道路（事業全体）

年次	年度（基準年）	総走行台キロの年次別伸び率（山陰ブロック）				割戻率	GDPデフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計（億円）	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 29	0.99461	0.99268	1.00768	0.99567	0.8548	92.1	14.09	5.86	17.19	37.14	31.74	3.64	1.09	4.56	9.28	7.94	4.19	3.58	50.61	43.26
1年目	H 30	0.99459	0.99262	1.00762	0.99565	0.8219	92.1	14.01	5.82	17.32	37.15	30.53	3.62	1.08	4.59	9.29	7.64	4.17	3.43	50.61	41.60
2年目	H 31	0.99456	0.99257	1.00756	0.99563	0.7903	92.1	13.94	5.77	17.45	37.16	29.37	3.60	1.07	4.63	9.30	7.35	4.15	3.28	50.61	40.00
3年目	H 32	0.99453	0.99251	1.00751	0.99561	0.7599	92.1	13.86	5.73	17.58	37.17	28.25	3.58	1.06	4.66	9.30	7.07	4.13	3.14	50.61	38.46
4年目	H 33	0.99608	0.99238	1.01104	0.99706	0.7307	92.1	13.81	5.68	17.78	37.27	27.23	3.56	1.05	4.71	9.33	6.82	4.12	3.01	50.72	37.06
5年目	H 34	0.99607	0.99232	1.01092	0.99705	0.7026	92.1	13.75	5.64	17.97	37.36	26.25	3.55	1.05	4.77	9.36	6.58	4.11	2.89	50.84	35.72
6年目	H 35	0.99605	0.99226	1.01080	0.99704	0.6756	92.1	13.70	5.60	18.16	37.46	25.31	3.54	1.04	4.82	9.39	6.35	4.10	2.77	50.95	34.42
7年目	H 36	0.99604	0.99220	1.01069	0.99703	0.6496	92.1	13.64	5.55	18.36	37.56	24.40	3.52	1.03	4.87	9.42	6.12	4.08	2.65	51.06	33.17
8年目	H 37	0.99602	0.99214	1.01057	0.99702	0.6246	92.1	13.59	5.51	18.55	37.65	23.52	3.51	1.02	4.92	9.45	5.90	4.07	2.54	51.18	31.96
9年目	H 38	0.99601	0.99208	1.01046	0.99701	0.6006	92.1	13.54	5.47	18.75	37.75	22.67	3.49	1.01	4.97	9.48	5.69	4.06	2.44	51.29	30.80
10年目	H 39	0.99599	0.99201	1.01035	0.99701	0.5775	92.1	13.48	5.42	18.94	37.84	21.85	3.48	1.01	5.02	9.51	5.49	4.05	2.34	51.40	29.68
11年目	H 40	0.99597	0.99195	1.01025	0.99700	0.5553	92.1	13.43	5.38	19.13	37.94	21.07	3.47	1.00	5.08	9.54	5.30	4.04	2.24	51.52	28.60
12年目	H 41	0.99596	0.99188	1.01014	0.99699	0.5339	92.1	13.37	5.34	19.33	38.04	20.31	3.45	0.99	5.13	9.57	5.11	4.02	2.15	51.63	27.56
13年目	H 42	0.99594	0.99182	1.01004	0.99698	0.5134	92.1	13.32	5.29	19.52	38.13	19.58	3.44	0.98	5.18	9.60	4.93	4.01	2.06	51.74	26.56
14年目	H 43	0.98993	0.99330	1.00037	0.99202	0.4936	92.1	13.18	5.26	19.53	37.97	18.74	3.40	0.98	5.18	9.56	4.72	3.98	1.96	51.51	25.43
15年目	H 44	0.98983	0.99325	1.00037	0.99196	0.4746	92.1	13.05	5.22	19.54	37.81	17.94	3.37	0.97	5.18	9.52	4.52	3.95	1.87	51.27	24.34
16年目	H 45	0.98973	0.99321	1.00037	0.99189	0.4564	92.1	12.92	5.19	19.54	37.65	17.18	3.33	0.96	5.18	9.48	4.33	3.92	1.79	51.04	23.29
17年目	H 46	0.98962	0.99316	1.00037	0.99182	0.4388	92.1	12.78	5.15	19.55	37.48	16.45	3.30	0.96	5.19	9.44	4.14	3.88	1.70	50.81	22.30
18年目	H 47	0.98951	0.99312	1.00037	0.99176	0.4220	92.1	12.65	5.11	19.56	37.32	15.75	3.26	0.95	5.19	9.40	3.97	3.85	1.63	50.57	21.34
19年目	H 48	0.98940	0.99307	1.00037	0.99169	0.4057	92.1	12.51	5.08	19.57	37.16	15.08	3.23	0.94	5.19	9.36	3.80	3.82	1.55	50.34	20.42
20年目	H 49	0.98929	0.99302	1.00037	0.99162	0.3901	92.1	12.38	5.04	19.57	37.00	14.43	3.20	0.94	5.19	9.32	3.64	3.79	1.48	50.11	19.55
21年目	H 50	0.98917	0.99297	1.00037	0.99155	0.3751	92.1	12.25	5.01	19.58	36.83	13.82	3.16	0.93	5.19	9.28	3.48	3.76	1.41	49.87	18.71
22年目	H 51	0.98905	0.99292	1.00037	0.99148	0.3607	92.1	12.11	4.97	19.59	36.67	13.23	3.13	0.92	5.20	9.24	3.33	3.72	1.34	49.64	17.90
23年目	H 52	0.98893	0.99287	1.00037	0.99140	0.3468	92.1	11.98	4.94	19.59	36.51	12.66	3.09	0.92	5.20	9.21	3.19	3.69	1.28	49.41	17.13
24年目	H 53	0.98881	0.99282	1.00037	0.99133	0.3335	92.1	11.84	4.90	19.60	36.35	12.12	3.06	0.91	5.20	9.17	3.06	3.66	1.22	49.17	16.40
25年目	H 54	0.98868	0.99277	1.00037	0.99125	0.3207	92.1	11.71	4.87	19.61	36.18	11.60	3.02	0.90	5.20	9.13	2.93	3.63	1.16	48.94	15.69
26年目	H 55	0.98855	0.99271	1.00037	0.99118	0.3083	92.1	11.58	4.83	19.62	36.02	11.11	2.99	0.90	5.20	9.09	2.80	3.60	1.11	48.71	15.02
27年目	H 56	0.98842	0.99266	1.00037	0.99110	0.2965	92.1	11.44	4.80	19.62	35.86	10.63	2.95	0.89	5.20	9.05	2.68	3.56	1.06	48.47	14.37
28年目	H 57	0.98828	0.99261	1.00037	0.99102	0.2851	92.1	11.31	4.76	19.63	35.70	10.18	2.92	0.88	5.21	9.01	2.57	3.53	1.01	48.24	13.75
29年目	H 58	0.98814	0.99255	1.00037	0.99094	0.2741	92.1	11.17	4.72	19.64	35.54	9.74	2.88	0.88	5.21	8.97	2.46	3.50	0.96	48.01	13.16
30年目	H 59	0.98800	0.99250	1.00037	0.99085	0.2636	92.1	11.04	4.69	19.65	35.37	9.32	2.85	0.87	5.21	8.93	2.35	3.47	0.91	47.77	12.59
31年目	H 60	0.98786	0.99244	1.00037	0.99077	0.2534	92.1	10.90	4.65	19.65	35.21	8.92	2.82	0.86	5.21	8.89	2.25	3.44	0.87	47.54	12.05
32年目	H 61	0.98771	0.99238	1.00037	0.99068	0.2437	92.1	10.77	4.62	19.66	35.05	8.54	2.78	0.86	5.21	8.85	2.16	3.40	0.83	47.30	11.53
33年目	H 62	0.98755	0.99232	1.00037	0.99059	0.2343	92.1	10.64	4.58	19.67	34.89	8.17	2.75	0.85	5.22	8.81	2.06	3.37	0.79	47.07	11.03
34年目	H 63	0.98740	0.99226	1.00037	0.99051	0.2253	92.1	10.50	4.55	19.67	34.72	7.82	2.71	0.84	5.22	8.77	1.98	3.34	0.75	46.84	10.55
35年目	H 64	0.98724	0.99220	1.00037	0.99041	0.2166	92.1	10.37	4.51	19.68	34.56	7.49	2.68	0.84	5.22	8.73	1.89	3.31	0.72	46.60	10.10
36年目	H 65	0.98707	0.99214	1.00037	0.99032	0.2083	92.1	10.23	4.48	19.69	34.40	7.17	2.64	0.83	5.22	8.69	1.81	3.28	0.68	46.37	9.66
37年目	H 66	0.98690	0.99208	1.00037	0.99023	0.2003	92.1	10.10	4.44	19.70	34.24	6.86	2.61	0.82	5.22	8.66	1.73	3.24	0.65	46.14	9.24
38年目	H 67	0.98673	0.99202	1.00037	0.99013	0.1926	92.1	9.97	4.41	19.70	34.08	6.56	2.57	0.82	5.23	8.62	1.66	3.21	0.62	45.90	8.84
39年目	H 68	0.98655	0.99195	1.00037	0.99003	0.1852	92.1	9.83	4.37	19.71	33.91	6.28	2.54	0.81	5.23	8.58	1.59	3.18	0.59	45.67	8.46
40年目	H 69	0.98637	0.99189	1.00037	0.98993	0.1780	92.1	9.70	4.33	19.72	33.75	6.01	2.50	0.80	5.23	8.54	1.52	3.15	0.56	45.44	8.09
41年目	H 70	0.98618	0.99182	1.00037	0.98983	0.1712	92.1	9.56	4.30	19.73	33.59	5.75	2.47	0.80	5.23	8.50	1.45	3.12	0.53	45.20	7.74
42年目	H 71	0.98598	0.99175	1.00037	0.98973	0.1646	92.1	9.43	4.26	19.73	33.43	5.50	2.43	0.79	5.23	8.46	1.39	3.08	0.51	44.97	7.40
43年目	H 72	0.98578	0.99168	1.00037	0.98962	0.1583	92.1	9.30	4.23	19.74	33.26	5.27	2.40	0.78	5.24	8.42	1.33	3.05	0.48	44.74	7.08
44年目	H 73	0.98558	0.99161	1.00037	0.98951	0.1522	92.1	9.16	4.19	19.75	33.10	5.04	2.37	0.78	5.24	8.38	1.28	3.02	0.46	44.50	6.77
45年目	H 74	0.98537	0.99154	1.00037	0.98940	0.1463	92.1	9.03	4.16	19.75	32.94	4.82	2.33	0.77	5.24	8.34	1.22	2.99	0.44	44.27	6.48
46年目	H 75	0.98515	0.99147	1.00037	0.98929	0.1407	92.1	8.89	4.12	19.76	32.78	4.61	2.30	0.76	5.24	8.30	1.17	2.96	0.42	44.04	6.20
47年目	H 76	0.98493	0.99140	1.00037	0.98917	0.1353	92.1	8.76	4.09	19.77	32.62	4.41	2.26	0.76	5.24	8.26	1.12	2.92	0.40	43.80	5.93
48年目	H 77	0.98470	0.99132	1.00037	0.98905	0.1301	92.1	8.63	4.05	19.78	32.45	4.22	2.23	0.75	5.25	8.22	1.07	2.89	0.38	43.57	5.67
49年目	H 78	0.98446	0.99125	1.00037	0.98893	0.1251	92.1	8.49	4.02	19.78	32.29	4.04	2.19	0.75	5.25	8.18	1.02	2.86	0.36	43.33	5.42
合計								581.68	244.96	963.65	1,790.29	699.53	150.16	45.45	255.60	451.21	175.95	180.42	72.99	2,421.92	948.47

様式－５

便益の現在価値算定表

箇所名：浜田・三隅道路（残事業）

年次	年度（基準年）	総走行台キロの年次別伸び率（山陰ブロック）				割戻率	GDPデフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計（億円）	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値②×(A)	③	現在価値③×(A)	便益合計(①～③)	現在価値割引率4%
供用開始年次	H 29	0.99461	0.99268	1.00768	0.99567	0.8548	92.1	14.09	5.86	17.19	37.14	31.74	3.64	1.09	4.56	9.28	7.94	4.19	3.58	50.61	43.26
1年目	H 30	0.99459	0.99262	1.00762	0.99565	0.8219	92.1	14.01	5.82	17.32	37.15	30.53	3.62	1.08	4.59	9.29	7.64	4.17	3.43	50.61	41.60
2年目	H 31	0.99456	0.99257	1.00756	0.99563	0.7903	92.1	13.94	5.77	17.45	37.16	29.37	3.60	1.07	4.63	9.30	7.35	4.15	3.28	50.61	40.00
3年目	H 32	0.99453	0.99251	1.00751	0.99561	0.7599	92.1	13.86	5.73	17.58	37.17	28.25	3.58	1.06	4.66	9.30	7.07	4.13	3.14	50.61	38.46
4年目	H 33	0.99608	0.99238	1.01104	0.99706	0.7307	92.1	13.81	5.68	17.78	37.27	27.23	3.56	1.05	4.71	9.33	6.82	4.12	3.01	50.72	37.06
5年目	H 34	0.99607	0.99232	1.01092	0.99705	0.7026	92.1	13.75	5.64	17.97	37.36	26.25	3.55	1.05	4.77	9.36	6.58	4.11	2.89	50.84	35.72
6年目	H 35	0.99605	0.99226	1.01080	0.99704	0.6756	92.1	13.70	5.60	18.16	37.46	25.31	3.54	1.04	4.82	9.39	6.35	4.10	2.77	50.95	34.42
7年目	H 36	0.99604	0.99220	1.01069	0.99703	0.6496	92.1	13.64	5.55	18.36	37.56	24.40	3.52	1.03	4.87	9.42	6.12	4.08	2.65	51.06	33.17
8年目	H 37	0.99602	0.99214	1.01057	0.99702	0.6246	92.1	13.59	5.51	18.55	37.65	23.52	3.51	1.02	4.92	9.45	5.90	4.07	2.54	51.18	31.96
9年目	H 38	0.99601	0.99208	1.01046	0.99701	0.6006	92.1	13.54	5.47	18.75	37.75	22.67	3.49	1.01	4.97	9.48	5.69	4.06	2.44	51.29	30.80
10年目	H 39	0.99599	0.99201	1.01035	0.99701	0.5775	92.1	13.48	5.42	18.94	37.84	21.85	3.48	1.01	5.02	9.51	5.49	4.05	2.34	51.40	29.68
11年目	H 40	0.99597	0.99195	1.01025	0.99700	0.5553	92.1	13.43	5.38	19.13	37.94	21.07	3.47	1.00	5.08	9.54	5.30	4.04	2.24	51.52	28.60
12年目	H 41	0.99596	0.99188	1.01014	0.99699	0.5339	92.1	13.37	5.34	19.33	38.04	20.31	3.45	0.99	5.13	9.57	5.11	4.02	2.15	51.63	27.56
13年目	H 42	0.99594	0.99182	1.01004	0.99698	0.5134	92.1	13.32	5.29	19.52	38.13	19.58	3.44	0.98	5.18	9.60	4.93	4.01	2.06	51.74	26.56
14年目	H 43	0.98993	0.99330	1.00037	0.99202	0.4936	92.1	13.18	5.26	19.53	37.97	18.74	3.40	0.98	5.18	9.56	4.72	3.98	1.96	51.51	25.43
15年目	H 44	0.98983	0.99325	1.00037	0.99196	0.4746	92.1	13.05	5.22	19.54	37.81	17.94	3.37	0.97	5.18	9.52	4.52	3.95	1.87	51.27	24.34
16年目	H 45	0.98973	0.99321	1.00037	0.99189	0.4564	92.1	12.92	5.19	19.54	37.65	17.18	3.33	0.96	5.18	9.48	4.33	3.92	1.79	51.04	23.29
17年目	H 46	0.98962	0.99316	1.00037	0.99182	0.4388	92.1	12.78	5.15	19.55	37.48	16.45	3.30	0.96	5.19	9.44	4.14	3.88	1.70	50.81	22.30
18年目	H 47	0.98951	0.99312	1.00037	0.99176	0.4220	92.1	12.65	5.11	19.56	37.32	15.75	3.26	0.95	5.19	9.40	3.97	3.85	1.63	50.57	21.34
19年目	H 48	0.98940	0.99307	1.00037	0.99169	0.4057	92.1	12.51	5.08	19.57	37.16	15.08	3.23	0.94	5.19	9.36	3.80	3.82	1.55	50.34	20.42
20年目	H 49	0.98929	0.99302	1.00037	0.99162	0.3901	92.1	12.38	5.04	19.57	37.00	14.43	3.20	0.94	5.19	9.32	3.64	3.79	1.48	50.11	19.55
21年目	H 50	0.98917	0.99297	1.00037	0.99155	0.3751	92.1	12.25	5.01	19.58	36.83	13.82	3.16	0.93	5.19	9.28	3.48	3.76	1.41	49.87	18.71
22年目	H 51	0.98905	0.99292	1.00037	0.99148	0.3607	92.1	12.11	4.97	19.59	36.67	13.23	3.13	0.92	5.20	9.24	3.33	3.72	1.34	49.64	17.90
23年目	H 52	0.98893	0.99287	1.00037	0.99140	0.3468	92.1	11.98	4.94	19.59	36.51	12.66	3.09	0.92	5.20	9.21	3.19	3.69	1.28	49.41	17.13
24年目	H 53	0.98881	0.99282	1.00037	0.99133	0.3335	92.1	11.84	4.90	19.60	36.35	12.12	3.06	0.91	5.20	9.17	3.06	3.66	1.22	49.17	16.40
25年目	H 54	0.98868	0.99277	1.00037	0.99125	0.3207	92.1	11.71	4.87	19.61	36.18	11.60	3.02	0.90	5.20	9.13	2.93	3.63	1.16	48.94	15.69
26年目	H 55	0.98855	0.99271	1.00037	0.99118	0.3083	92.1	11.58	4.83	19.62	36.02	11.11	2.99	0.90	5.20	9.09	2.80	3.60	1.11	48.71	15.02
27年目	H 56	0.98842	0.99266	1.00037	0.99110	0.2965	92.1	11.44	4.80	19.62	35.86	10.63	2.95	0.89	5.20	9.05	2.68	3.56	1.06	48.47	14.37
28年目	H 57	0.98828	0.99261	1.00037	0.99102	0.2851	92.1	11.31	4.76	19.63	35.70	10.18	2.92	0.88	5.21	9.01	2.57	3.53	1.01	48.24	13.75
29年目	H 58	0.98814	0.99255	1.00037	0.99094	0.2741	92.1	11.17	4.72	19.64	35.54	9.74	2.88	0.88	5.21	8.97	2.46	3.50	0.96	48.01	13.16
30年目	H 59	0.98800	0.99250	1.00037	0.99085	0.2636	92.1	11.04	4.69	19.65	35.37	9.32	2.85	0.87	5.21	8.93	2.35	3.47	0.91	47.77	12.59
31年目	H 60	0.98786	0.99244	1.00037	0.99077	0.2534	92.1	10.90	4.65	19.65	35.21	8.92	2.82	0.86	5.21	8.89	2.25	3.44	0.87	47.54	12.05
32年目	H 61	0.98771	0.99238	1.00037	0.99068	0.2437	92.1	10.77	4.62	19.66	35.05	8.54	2.78	0.86	5.21	8.85	2.16	3.40	0.83	47.30	11.53
33年目	H 62	0.98755	0.99232	1.00037	0.99059	0.2343	92.1	10.64	4.58	19.67	34.89	8.17	2.75	0.85	5.22	8.81	2.06	3.37	0.79	47.07	11.03
34年目	H 63	0.98740	0.99226	1.00037	0.99051	0.2253	92.1	10.50	4.55	19.67	34.72	7.82	2.71	0.84	5.22	8.77	1.98	3.34	0.75	46.84	10.55
35年目	H 64	0.98724	0.99220	1.00037	0.99041	0.2166	92.1	10.37	4.51	19.68	34.56	7.49	2.68	0.84	5.22	8.73	1.89	3.31	0.72	46.60	10.10
36年目	H 65	0.98707	0.99214	1.00037	0.99032	0.2083	92.1	10.23	4.48	19.69	34.40	7.17	2.64	0.83	5.22	8.69	1.81	3.28	0.68	46.37	9.66
37年目	H 66	0.98690	0.99208	1.00037	0.99023	0.2003	92.1	10.10	4.44	19.70	34.24	6.86	2.61	0.82	5.22	8.66	1.73	3.24	0.65	46.14	9.24
38年目	H 67	0.98673	0.99202	1.00037	0.99013	0.1926	92.1	9.97	4.41	19.70	34.08	6.56	2.57	0.82	5.23	8.62	1.66	3.21	0.62	45.90	8.84
39年目	H 68	0.98655	0.99195	1.00037	0.99003	0.1852	92.1	9.83	4.37	19.71	33.91	6.28	2.54	0.81	5.23	8.58	1.59	3.18	0.59	45.67	8.46
40年目	H 69	0.98637	0.99189	1.00037	0.98993	0.1780	92.1	9.70	4.33	19.72	33.75	6.01	2.50	0.80	5.23	8.54	1.52	3.15	0.56	45.44	8.09
41年目	H 70	0.98618	0.99182	1.00037	0.98983	0.1712	92.1	9.56	4.30	19.73	33.59	5.75	2.47	0.80	5.23	8.50	1.45	3.12	0.53	45.20	7.74
42年目	H 71	0.98598	0.99175	1.00037	0.98973	0.1646	92.1	9.43	4.26	19.73	33.43	5.50	2.43	0.79	5.23	8.46	1.39	3.08	0.51	44.97	7.40
43年目	H 72	0.98578	0.99168	1.00037	0.98962	0.1583	92.1	9.30	4.23	19.74	33.26	5.27	2.40	0.78	5.24	8.42	1.33	3.05	0.48	44.74	7.08
44年目	H 73	0.98558	0.99161	1.00037	0.98951	0.1522	92.1	9.16	4.19	19.75	33.10	5.04	2.37	0.78	5.24	8.38	1.28	3.02	0.46	44.50	6.77
45年目	H 74	0.98537	0.99154	1.00037	0.98940	0.1463	92.1	9.03	4.16	19.75	32.94	4.82	2.33	0.77	5.24	8.34	1.22	2.99	0.44	44.27	6.48
46年目	H 75	0.98515	0.99147	1.00037	0.98929	0.1407	92.1	8.89	4.12	19.76	32.78	4.61	2.30	0.76	5.24	8.30	1.17	2.96	0.42	44.04	6.20
47年目	H 76	0.98493	0.99140	1.00037	0.98917	0.1353	92.1	8.76	4.09	19.77	32.62	4.41	2.26	0.76	5.24	8.26	1.12	2.92	0.40	43.80	5.93
48年目	H 77	0.98470	0.99132	1.00037	0.98905	0.1301	92.1	8.63	4.05	19.78	32.45	4.22	2.23	0.75	5.25	8.22	1.07	2.89	0.38	43.57	5.67
49年目	H 78	0.98446	0.99125	1.00037	0.98893	0.1251	92.1	8.49	4.02	19.78	32.29	4.04	2.19	0.75	5.25	8.18	1.02	2.86	0.36	43.33	5.42
合計								581.68	244.96	963.65	1,790.29	699.53	150.16	45.45	255.60	451.21	175.95	180.42	72.99	2,421.92	948.47

（事業全体）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	浜田・三隅道路	2	14.5km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考
①工事費					43,932	
	改良費				13,395	
		土工	m3	9,166,261	6,630	切土（2,605,340m3）、盛土（3,056,730m3）
		軟弱地盤改良工	m3	22,464	197	
		法面工	㎡	364,218	1,305	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	650	補強土壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	3,697	615	
		函渠工	m	563	577	
		排水工	m	62,435	916	
		中央分離帯工	m	10,454	224	
		雑工	式	1	2,280	工事用道路等
	橋梁費				12,673	
		100m以上	m	1,726	9,606	PC橋（6橋）、鋼橋（3橋）
		100m未満	m	563	3,067	PC橋（11橋）
	トンネル費				8,129	
		NATM	m	3,696	8,129	4本
		シールド	m	―	―	
	IC・JCT費				4,650	
		IC	箇所	4	4,650	ダイヤモンド型（4箇所）
		JCT	箇所	―	―	
	舗装費				2,614	
		車道舗装	㎡	217,049	2,614	
		歩道舗装	㎡	―	―	
	附帯施設費				2,471	
		交通管理施設工	式	1	2,471	標識工、防護柵工等
		遮音壁	m	―	―	
②用地及び補償費					4,544	
	用地費		㎡	964,506	2,026	
		宅地	㎡	95,762	1,071	
		田畑	㎡	151,886	548	
		山林・原野	㎡	716,858	407	
		その他	㎡			
	補償費		式	1	2,518	
③間接経費			式	1	8,624	地質調査、測量、設計、文化財調査にかかる費用及び予備費
全体事業費					57,100	

（残事業）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	浜田・三隅道路	2	14.5km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考
①工事費					9,464	
	改良費				1,235	
		土工	m3	542,059	375	切土（164,505m3）、盛土（212,111m3）
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	㎡	27,990	90	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	42	補強土壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	68	8	
		函渠工	m	132	116	
		排水工	m	15,322	225	
		中央分離帯工	m	10,454	224	
		雑工	式	1	156	工事用道路等
	橋梁費				2,752	
		100m以上	m	379	2,109	PC橋（2橋）、鋼橋（2橋）
		100m未満	m	118	643	PC橋（2橋）
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m	―	―	
	IC・JCT費				1,163	
		IC	箇所	1	1,163	ダイヤモンド型（1箇所）
		JCT	箇所	―	―	
	舗装費				2,333	
		車道舗装	㎡	193,722	2,333	
		歩道舗装	㎡	―	―	
	附帯施設費				1,981	
		交通管理施設工	式	1	1,981	標識工、防護柵工等
		遮音壁	m	―	―	
②用地及び補償費					36	
	用地費		㎡			
		宅地	㎡			
		田畑	㎡			
		山林・原野	㎡			
		その他	㎡			
	補償費		式	1	36	
③間接経費			式	1	548	地質調査、測量、設計、文化財調査にかかる費用及び予備費
全体事業費					10,048	

（事業全体・残事業）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	浜田・三隅道路	2	14.5km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 （百万円）	備考
維持費	km	14.5	2,950	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	11,050	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			14,000	

一般国道９号浜田・三隅道路

〔島根県への意見照会と回答〕

国中整企画第５０号
国中整港計第２６号
平成２５年１１月８日

島根県知事　殿

中国地方整備局長

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について（ご依頼）

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成２５年１２月５日（木）に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

（別紙）

【河川事業】

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
斐伊川水系直轄河川改修事業	継続	

【道路事業】

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
一般国道9号浜田・三隅道路	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る対応方針（原案）を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限 ： 平成25年11月25日（月）までにお願いします。
※様式自由

■送付先

〒730-8530
広島市中区上八丁堀6-30
中国地方整備局 企画部 企画課長 宛

■お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課
課長補佐 加田
教習係長 松田
TEL：082－221－9231（代表）
FAX：082－227－2651

河　第　６　２　３　号
平成２５年１１月２２日

中国地方整備局長　様

島根県知事　溝口　善兵衛
（土木部高速道路推進課）
（土　木　部　河　川　課）

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る
意見照会について（回答）

平成２５年１１月４日付け国中整企画第５０号、国中整港計第２６号により意見照会のあった下記事業について、継続するとの対応方針（原案）については、別紙のとおり異存ありません。

記

河 川 事 業　　斐伊川水系直轄河川改修事業
道 路 事 業　　一般国道９号浜田・三隅道路

中国地方整備局
企画第37号
25.11.28

中国地方整備局
港計第50号
25.11.28

（別紙）

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）案に対する意見

【道路事業】

事　業　名	一般国道９号浜田・三隅道路
対応方針に対する意見 （対応方針：継続）	妥当である
（意見） 一般国道９号浜田・三隅道路は、重点港湾浜田港を活かした物流の活性化、企業誘致の促進、事故・災害時の代替道路機能の確保、救急医療活動の支援を始め、地域産業の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠な路線であり、既に明示されている平成２８年度での確実な供用を図って頂きたい。 また、その他の山陰道の各区間についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、２０２０年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。 なお、道路利用者から声が上がっているトイレ等の休憩施設について、現道の道の駅への案内誘導等、配慮願いたい。	